

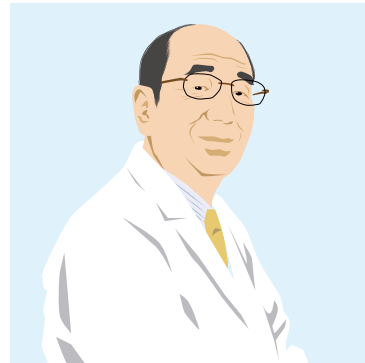
みんなのくらちゅう10

— 共に考える地域医療 —



みんなのくらちゅう10

院長挨拶



本誌『みんなのくらちゅう』も今回で発刊より10年目となり、第10巻の発行となりました。病気とどう向きあいどう対応するのか、健康をどのように維持するのかなどのテーマの中で、当院がどのような役割を果たしていくべきか取り上げてきました。

この10年で医療は確実に進歩し大きな恩恵を受けてきましたが、同時に厳しい医療財政下での医療提供体制などの大きな変化もありました。一方、本年の1月より始まった新型コロナウイルス感染症は世界中を巻き込み、日本も大きな被害に見舞われました。今回の新型コロナウイルス禍は、今後更に大きな医療の変化をもたらすものと思われます。

何が起るかを一言でいうと5年先、10年先の医療の姿が急速に現実化するということであろうと思います。そこでは適正な医療、必要とされる医療とはどういったものかが問われ、医療の効率化、標準化と共に費用対効果といった課題もあります。そして最終的には自分の健康は自分で守るといった考えが普及することになると思います。

本誌がこれからの皆さまの病気への対応や健康の維持に、引き続きお役に立つことを願っております。

院長 山形 専

CONTENTS

- 01 みんなで考えるこのまちの医療
- 07 けんしん
- 17 かかりつけ
- 29 医療ネットワークを使った連携
- 31 救急医療
- 37 入院から転院・退院まで
- 45 在宅医療
- 54 連携医療機関の紹介
- 57 わが街健康プロジェクト。
- 61 セカンドオピニオン外来
- 63 がんに関する取り組み
- 65 患者さんをお待たせしないために

みんなで考える このまちの医療

高齢化が進む中、これからも安心して
医療を受けられるように、皆さんと
医療従事者が地域医療をともに考え、
協力することが大切です。



この数字は何でしょう？

10年

10年 …10年前からすでに倉敷市は超高齢社会

みんなが必要な医療を受けられるよう このまちの医療について考えよう。

高齢化が進み、今後さらに医療・介護の需要が増えると予想される中、みんなが必要な医療を受けられるようにするためにできることがあります。

2025年問題を見据えて 『みんなのくらちゅう』を発行開始

国は 2000 年から 2025 年問題を見据え、医療機関が連携して地域全体で患者さんを診る方針としました。地域の医療の役割分担や、その中での当院の県南西部における役割を市民の皆さんに理解してもらうために 2011年に『みんなのくらちゅう』を発行しました。



2011 年より以後毎年発行

超高齢社会が進行する倉敷市

2020 年現在、倉敷市の高齢化率（総人口における 65 歳以上の割合）は 26.6%です。高齢化率が 21.0%を超えると超高齢社会になります。団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年には 30%になることが予想されています。

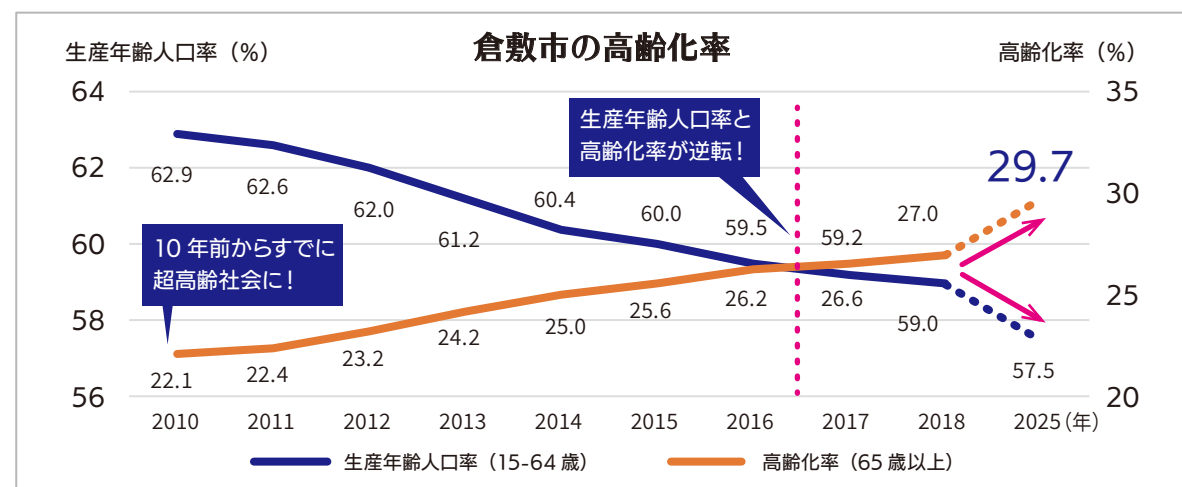
倉敷市の高齢化率



2025 年 高齢化率予測

29.7%

(日本医師会ホームページより)



症状にあった医療機関を受診することが必要です

医療機関は症状の経過によって役割が分かれています。症状の経過にあった医療機関を受診することで、自宅復帰が早まり、新たな患者さんが早期に治療を受けられます。

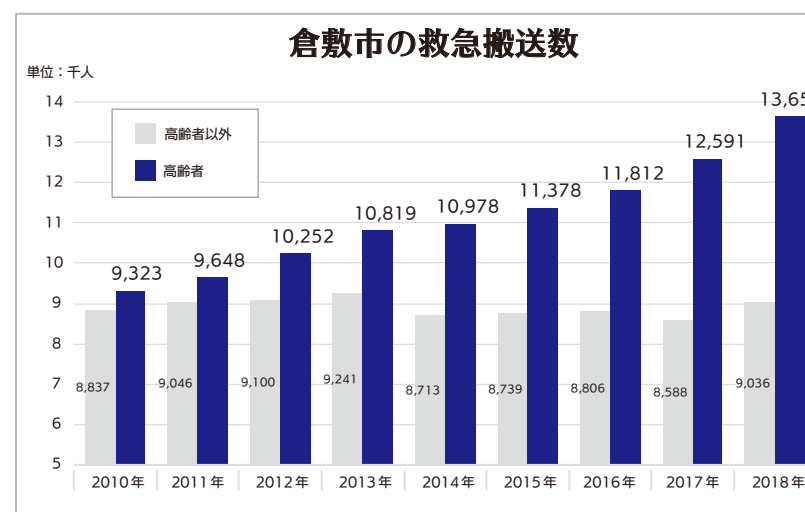
倉敷中央病院は高度急性期病院です

救急搬送による重症患者さんや医療機関からの紹介患者さんの入院医療に特化しています。次の段階の治療は地域の医療機関で継続することで、地域全体で治療する体制をとっています。

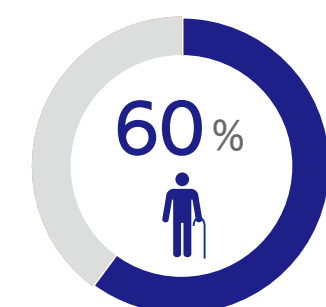


高齢者の救急搬送が増加 今後も増加予想

倉敷市の救急搬送数とその中に占める 65 歳以上の高齢者の割合は、年々増加しています。高齢化が進むことで救急医療を必要とする人が増え、さらなる増加が予想されます。



救急搬送数に占める 高齢者の割合



(2018 年 総数：22,687 件)

倉敷中央病院の取り組み

地域の皆さんが必要な医療を受けられるように、当院は近隣の医療機関と協力しながら地域医療に注力しています。当院が地域医療のために行っている取り組みをご紹介します。

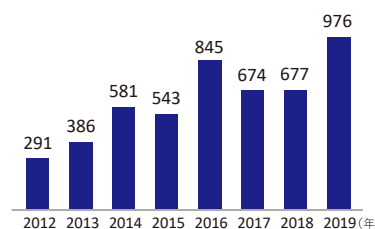
病気や事故で重傷になっても いつでも専門的な医療が受けられるように



かかりつけ医

日頃の状態を管理します。病状が悪化したときは専門治療ができる病院へ紹介します。病状が落ち着いた後は再度、日常診療を行います。当院はかかりつけ医をお持ちでない方へ、一緒に探すお手伝いをしています。(■P.20)

かかりつけ医探し件数



当院の受診

当院は、完全予約制[※]の科を設けて重症患者さんの治療に専念しています。

受診する際は、まずはかかりつけ医へ症状を相談の上、必要であれば紹介してもらいましょう。

※初診の際、他院からの紹介状と事前予約が必要な診療科

脳神経外科・脳卒中科／呼吸器外科／消化器内科／乳腺外科／整形外科／眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／糖尿病内科／精神科／内分泌代謝科／リウマチ・膠原病科／歯科

● 紹介状がなく完全予約制[※]の科以外を受診される場合は別途料金がかかります。

● WEB で 24 時間予約申込の受け付けを行っております。患者さんの時間や都合に合わせてお申し込みいただけます。(■19P へ)



地域全体で患者さんを受け入れる

疾患によってはより早い治療が必要です。当院の手術室が満床で治療が難しい場合でも、連携している地域の医療機関で受入れ、早期手術ができる体制をとっています。(■P.36)

日常復帰に向けたフォローを受けて 一日でも早く退院できるように



入院前から治療計画を立てる

面談で患者さんの日常生活、介護状況などを確認し、入院中の治療や日常復帰の計画を立てるのに役立てます。当院では担当のケアマネジャーがいる場合、事前に連絡を取り退院後の生活支援に向けて早期から連携しています。(■P.40)



入院中もかかりつけ医が見守る（開放病床）

かかりつけ医が来院し、入院主治医と今後の治療方針を共有し患者さんと直接会って状態を診てくれます。

開放病床を実際に利用した方から「利用してよかった」との声を頂いています。(■P.23)



転院前に転院予定の医療機関のスタッフが訪問

対面することで転院による治療の内容や治療環境に関する疑問についてすぐお答えできる体制をとっています。(■P.44)

医療機関が代わっても 治療・情報が途切れないように



治療計画を転院先の医療機関と共有（地域連携パス）

転院しても治療方針が変わることなく同じ治療を一貫して受けられます。患者さんも計画を確認できるので、今後の治療の流れが把握できます。パスを利用することで病気の再発予防や早期発見につながります。(■P.41)



ネットワークを使った情報共有

医療機関同士、患者さんの検査・画像などの情報を共有します。検査の重複も減るので患者さんの負担も軽減されます。患者さん自身も治療記録を電子ツールで管理できます。(■P.29)

けんしん

健康と向き合う

病気の芽は、小さなうちに摘むことが
できれば、怖がりすぎなくても大丈夫。
あなたらしい生活を続けるために、
けんしんがあります。



この数字は何でしょう？

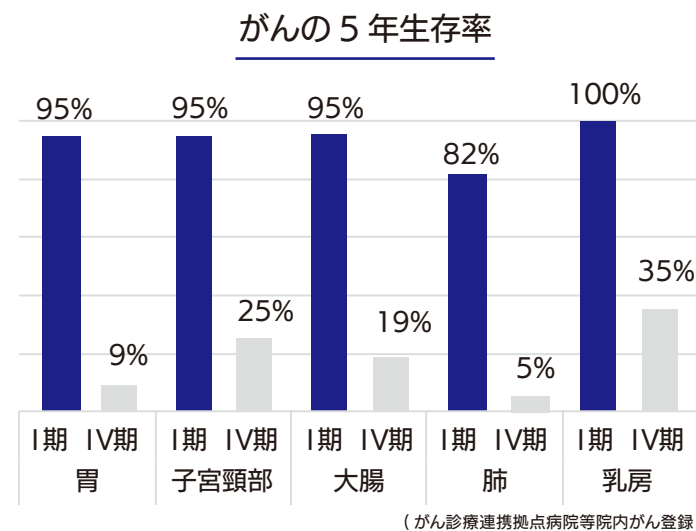
95%

95% …大腸がんI期の5年生存率 (2010～2011年)

がんは「どの段階で見つけるか」でその後の経過が大きく変わります。

「自覚症状が出たら、すぐに受診をすれば大丈夫」なのでしょうか？がん検診で早期のがんを見つけて早く治療を開始することで、からだと経済的な負担を少なくすることができます。

早期発見なら5年生存率が9割



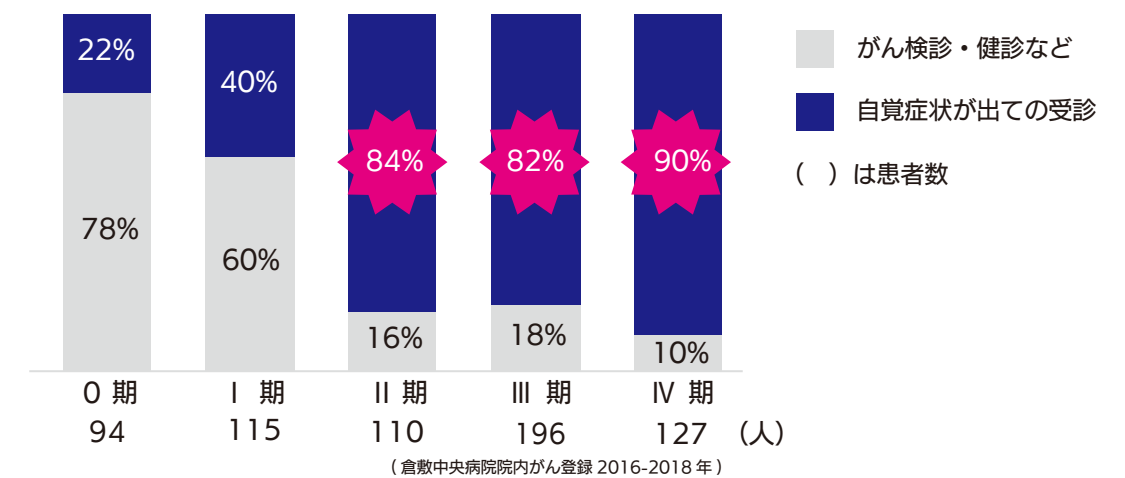
がんのステージ

数字が大きいほど病気が進んでいることを表します。ステージ0からステージIVまでの5段階に分かれます。0期はがんが上皮にとどまっており、リンパ節への転移もない状態です。

がん検診の目的は、早期のがんを見つけて、治療すること

大腸がんの場合、当院で「がん」と診断された方は、がん検診にて早期がんが見つっています。自覚症状が出てからではがんが進行していることが多いことがわかります。

大腸がんと診断された方の受診経緯



がん検診を見過ごしてはいませんか？

※「検診」は、がんなど特定の病気を見つけるためのものです。

がん検診は、検診により死亡率の減少が証明されたがんが対象になっています。そのため市町村のがん検診では費用に補助があり、各地区で検診を受けることができます。

倉敷中央病院ではロボット手術（ダヴィンチ）を行っています

お腹に小さな穴を数カ所開け、ロボットアームを医師が操作して行う手術です。手術部位をカメラで拡大して見ることができ、神経や細い血管もよく見えるため、少ない出血量で正確な手術を行うことができます。

傷も小さいため目立ちにくく、術後の痛みが少ないので、日常生活に早く戻ることができます。

大腸がん手術では、直腸切除が保険適用です。2019年は42件の実績があります。



ダヴィンチによる手術風景。執刀医（右端）はコンソールに座り、カメラの3D映像を見ながら手術を行う。

倉敷市のがん検診受診率



肺がん
7.2%



子宮頸がん
17.3%



胃がん
8.2%



乳がん
18.7%



大腸がん
6.6%

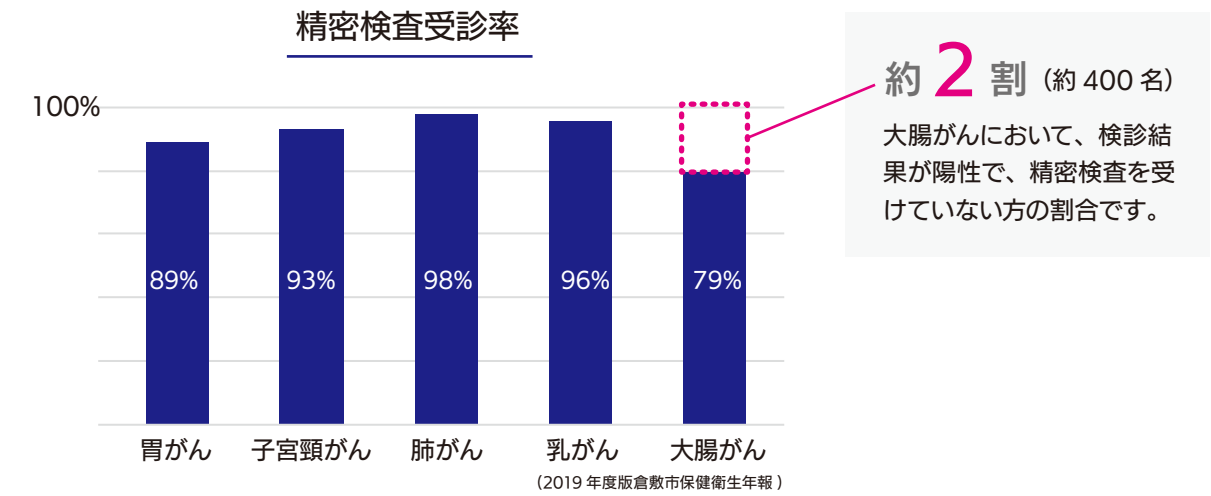
市の大腸がん検診を受けていない人

約17万5千人

(平成29年度がん登録・がん検診データ分析による地域健康課題)

大腸がん検診を受けて「陽性」なら 必ず精密検査を受けましょう

「たまたま体調が悪かった時に検査したのかも…」と自己判断をするのは危険です。
大腸がん検査（便潜血検査）は痔や経血で陽性になることは稀です。



※検診の結果に関わらず、自覚症状があればすぐに医療機関を受診しましょう。
※がんかどうかは、精密検査を受けてから診断されます。

ステージ0ではお腹に傷を作らず 治療ができます

ステージが低いほど、身体的・経済的負担が少なく治療できます。

0 期
96%が内視鏡治療のみ
内視鏡治療後は 5 年をめぐに、大腸内視鏡で定期検査をします。

I 期
約8割が鏡視下手術
手術の後は 5 年をめぐに、血液検査や CT 検査、大腸内視鏡検査を定期的に行います。

II 期
約8割が開腹手術 約2割が化学療法
手術前・手術後にそれぞれ半年程度の治療期間が必要となります。

III 期
約8割が開腹手術 約5割が化学療法
手術前・手術後にそれぞれ半年程度の治療期間が必要となります。

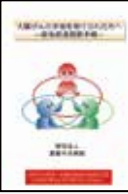
IV 期
手術が5割
手術をしない（切除不能）が5割

(倉敷中央病院院内がん登録 2016-2018 年)

地域連携パスで
手術後の経過観察

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医で行い、必要時には倉敷中央病院に受診してもらいます。

- かかりつけ医に継続して診てもらえ、相談しやすい。
- 倉敷中央病院では、かかりつけ医でできない検査のみ行う。
(通院負担軽減)
- 今後の治療計画がわかりやすい。



検診による早期発見・早期治療は 治療期間短縮につながります

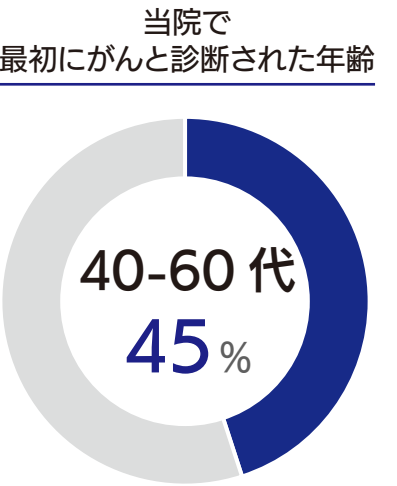
がん検診は肺、胃、大腸などそれぞれの部位を調べて特定の病気を見つけます。からだの部位ごとの管理と定期的な受診が早期発見のカギになります。

大腸がんと診断された人のうち 2人に1人は働き盛りの世代

当院で「最初にごんと診断された年齢」をみると、全体の 45%は 40 ～ 60 代の方です。この年代は、仕事、育児、介護…と自分の時間が少ないという方も多いでしょう。だからこそ、治療のために休んだりしたくないですね。

早期発見のためにも、自営業の方、社保などの被扶養者の方は市町村の検診を活用しましょう。

倉敷中央病院がん相談支援センターでは治療と仕事の両立を支援する取り組みを行っています。詳しくは P.64



がん検診は1度きりで 終わらせない

がん検診は推奨される年齢になったら定期的に受けましょう。

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃	X 線検査または胃内視鏡	50 歳以上	2 年に 1 回
子宮頸部	視診、細胞診及び内診	20 歳以上	2 年に 1 回
大腸	便潜血検査	40 歳以上	1 年に 1 回
肺	X 線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上	1 年に 1 回
乳房	マンモグラフィ	40 歳以上	2 年に 1 回



検診を受ける機会、見過ごしていませんか？
健康診断だけでは特定の病気を見つけることはできません。会社にお勤めの方も検診の案内を見逃さないようにして今の自分の状態を知っておきましょう。

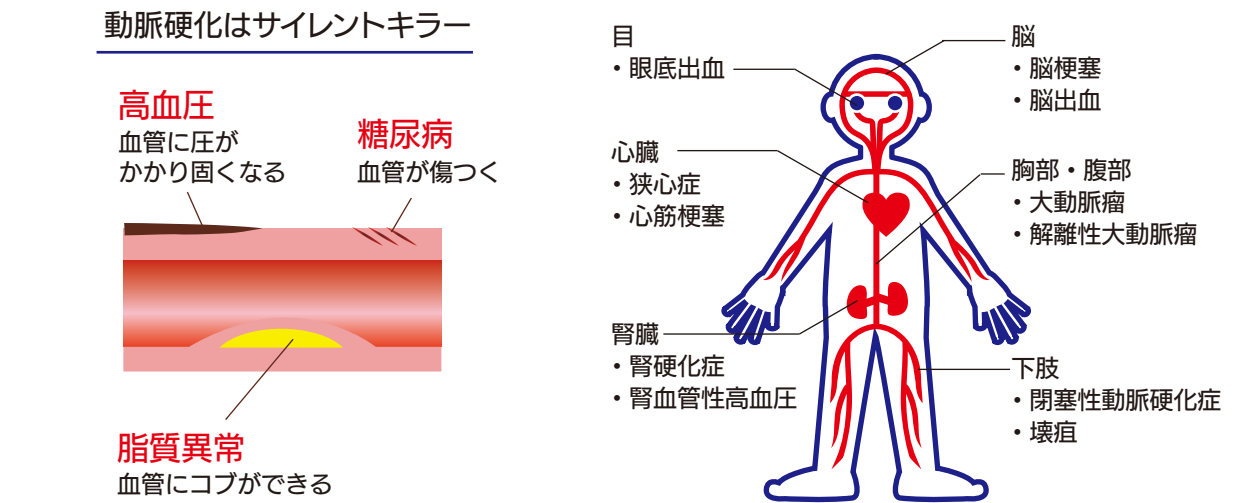


症状が出る前に 生活習慣の見直しを

健診（健康診断）は全身の健康状態を調べるものです。生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）の要因となる「血糖値」「コレステロール」「血圧」の異常が現れても、すぐに体調に変化は出ません。そのまま進行するとどのような変化が起きるのでしょうか？

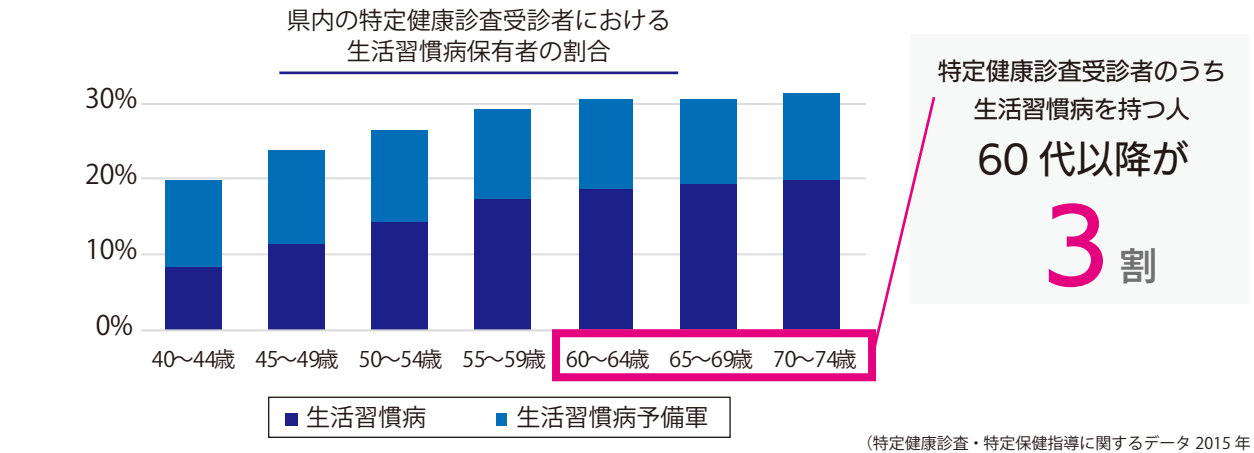
生活習慣病は自覚症状なく進行し 動脈硬化の原因に

動脈硬化は血管が狭くなり詰まりやすく、もろくなって出血しやすい状態です。血管は全身に張り巡らされているため、動脈硬化は全身のさまざまな病気につながります。



4人に1人は生活習慣病とその予備軍

特定健康診査受診者のうち生活習慣病を持つ人は年齢とともに増加しています。市町村や会社の健診で把握して生活習慣を改善すると、重大な病気になる前に防ぐことができます。



お薬で正常値にすることと 健康でいることは同じではありません

生活習慣病は適切に治療をすることで病状を管理することができます。しかし、お薬にはメリットだけでなく、副作用や、飲み合わせといったデメリットもあります。他の病気になったときに重症化しやすいことがあります。生活習慣を見直し、生活習慣病を予防し、見つかったときには悪化しないように対策しましょう。



- 例えば
- 糖尿病の患者さんが感染症になると治りにくく、重症化しやすい。
 - 動脈硬化で血液の流れを良くするお薬を飲んでいて出血で血が止まりにくくなる。（脳や消化管での出血は、重症になることもあります）

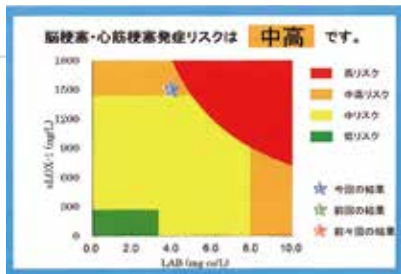
予防医療プラザではオプション検査で 詳しい内容を調べることができます

健診に追加してさらに詳しい内容を人間ドックのオプションで調べることができます。

動脈硬化の発症リスクを調べる

今後 10 年間のリスクを知ることができるので、動脈硬化になる前の予防に役立てられます。検査は血液検査のみで行うことができます。

▶血液検査ロックスインデックス（12,000 円 税別）



心臓ドックでは心臓MRI検査が可能

電磁気の力を利用した MRI（磁気共鳴画像撮影）装置での検査です。CT や X 線検査のような放射線被ばくがありません。自由な方向から心臓を観察することができ、心エコーで問題となる骨や空気の影響を受けないため、最も正確とされています。

▶心臓ドック（45,000 円 税別）



AI(人工知能)を用いたシミュレーション

AI（人工知能）を用いた健診結果予測シミュレーションでは近年の検査値と、運動や飲酒、喫煙、睡眠などの生活習慣データをもとに、予測モデルで将来の健康状態のシミュレーションができます。生活習慣やストレス、家族歴により、どの病気になりやすいかのリスクは、人によって異なります。詳しく調べることで、気を付けるポイントを知ることができます。

申込先 倉敷中央病院 予防医療プラザ TEL：086-422-6800 【受付時間】月～土 8:00～16:30
※水曜日・土曜日は休業日の場合があります。

健診は受けてからが大切です 改善に向けて行動を

健診を受けた結果、基準値内の数値や経過観察でも、生活習慣の改善が必要な場合があります。放置せずに結果を活用し、改善に向けて行動しましょう。

保健指導を受けると アドバイスがもらえます

軽度異常・要経過観察の項目があれば、健診を受けたところ（市町村、健診センターなど）からお知らせが届きます。日頃の生活習慣（食事、運動、肥満、喫煙、飲酒）の改善は、自分だけではどこから手を付けるべきか迷うもの。保健師などから改善に向けたアドバイスを受けられますので、ぜひ活用しましょう。健診に伴う特定保健指導は無料です。



要再検査、要精密検査は必ず受診を

要再検査

一時的な変動かどうかの確認のために、もう一度同じ検査が必要。かかりつけ医を必ず受診しましょう。

要精密検査 要治療

追加で詳しい検査が必要。
予防医療プラザでけんしんを受けた方は、予防医療プラザで倉敷中央病院の予約をとることが可能です。

健診は年に1度必ず受けましょう

「今年の結果がどうか」に一喜一憂せずに、各検査項目の数値がどのように推移しているかをチェックして、自分のからだの変化を確認しましょう。「異常なし」と判断された項目でも、年々数値が上がっている（下がっている）項目があれば、生活の見直しが必要かもしれません。

予防医療プラザでは健診後に翌年の予約をとることができます。

定期受診を忘れない工夫

- 誕生月や記念日などけんしんを受ける時期を決めておく。
- けんしんのお知らせが届いたら、すぐに予約をとる。
- 家族など、誰かと一緒に予約をする。

甘く見ないで！危険な骨折

骨折には骨粗しょう症が関係しています。骨粗しょう症は、骨がもろくなり骨折しやすくなる病気です。初めのうちは自覚症状はありません。

気付かないうちに進行する骨粗しょう症 2人に1人は骨密度が低下

初めのうちは自覚症状はありませんが、ひどくなると転ぶなどの軽い力で骨折し、要介護状態につながります。さらに、大腿骨（足の付け根）の骨折では、5年生存率が約50%になります。予防医療プラザでは20歳代～90歳代（平均62歳）の約1,100名が測定した結果、半数以上が基準値より低く、5%は重症骨粗しょう症でした。

女性は40歳、男性は60歳を 過ぎたら測ってみましょう

骨粗しょう症は数年かけてじわじわと進行します。1度調べておけば、今すぐ生活習慣の改善が必要なのか、数年は安心できるのかがわかります。また、治療を始めてから効果が出始めるまで1年、治療は数年かかることもあるため、早めの対策が鍵です。ぜひ、健診と一緒に受けましょう。

骨粗しょう症で 骨折しやすいところ



しっかり測る

- 予防医療プラザで骨密度検査を受ける。(3,500円 税別)
※人間ドックのオプション検査です。
- かかりつけ医に相談し、必要時に骨粗しょう症外来へ紹介してもらう。

DEXA法



服を着たまま5～10分程度で測れます

気軽に測る

- わが街健康プロジェクト。
- 倉敷中央病院ヘルスケアショップ
※超音波による測定。結果に応じて医療機関を受診しましょう。

当院はかかりつけ医と共に骨粗しょう症治療に取り組んでいます



プラザクリニック

- 1 骨密度を測定します。
- 2 骨粗しょう症と診断された場合には、お薬での治療を開始します。
- 3 お薬で副作用がなければ、その後の処方、かかりつけ医に依頼します。
- 4 年1回、骨密度を測り、治療効果を見ます。



連携先医療機関

かかりつけ

生活に寄り添いともに考える

あなたはこれからどのように歳を重ねていきたいですか？少しでも長くあなたらしく生きるために、人生に医療パートナーを持ちましょう。



この数字は何でしょう？

88.5%

88.5% …地域の医療機関から紹介状を持参して入院された
患者さんの割合 (2019 年度)

「かかりつけ医」だからこそ気付ける 患者さんの変化があります。

かかりつけ医は運動や休養、食事や飲酒などの生活習慣、家族構成や治療歴を知り、慢性疾患をコントロールしながらからだ全体のバランスを把握して継続して診てくれます。あなたの体調の変化をいち早く発見し、専門の医療機関へ紹介してくれます。

高齢化が進み、複数の慢性疾患を持つ 患者さんが増えています

75 歳以上の高齢者で慢性疾患を持つ人

2 疾患以上 / 8 割



3 疾患以上 / 6 割



(出典：東京都健康長寿医療センター調べ
Preventing Chronic Disease 2019/1/31 掲載)

主な慢性疾患

- ・ 高血圧症
- ・ 胃・十二指腸潰瘍
- ・ 脂質異常症
- ・ 関節症・脊椎障害
- ・ 骨粗しょう症
- ・ 糖尿病
- ・ 白内障・緑内障
- ・ 認知症

地域医療連携室では かかりつけ医をお探しします！

地域の医療機関の情報を取りまとめ、必要な場合は直接問い合わせを確認しています。
患者さん一人ひとりとお話ししながらかかりつけ医探しをお手伝いしています。

疑問やお悩みがあれば 地域医療連携室へ

地域の医療機関情報

- ・ 医療機関の特徴
(専門分野、医療設備、施設情報など)
- ・ お薬情報
(お薬の取り扱い有無、ジェネリック対応など)
- ・ 倉敷中央病院との関わり
(地域連携パス、開放病床、地域連携小児夜間など)



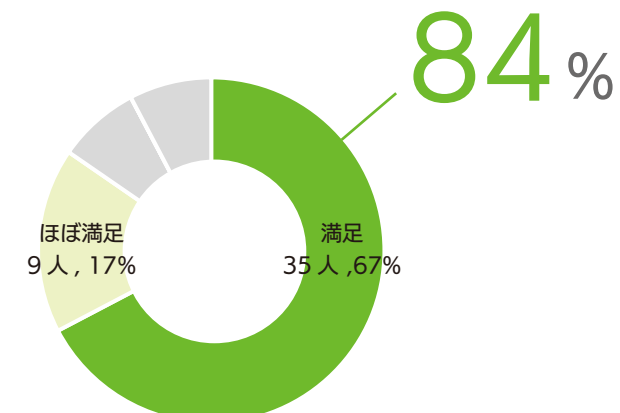
倉敷中央病院の地域医療連携室
中央玄関を入ってすぐ左手にある1-8へお越し下さい。

「通院が困難なので家で医療を受けたい」、「最期は家で過ごしたい」など在宅医療を希望する場合は、生活の支援も含めて相談できる医療ソーシャルワーカーがお手伝いします。

かかりつけ医探しの満足度

Q. 当院職員のかかりつけ医探しの
サポートは満足できるものでしたか？

A. 満足・ほぼ満足



期間：2020/1/6～3/6 回答数：52名

かかりつけ医探し相談件数

976 件

(約 81 件/月)

当院の地域医療連携室でかかりつけ医をお探しした件数です。

おまとめ件数

23 件

5診療科に受診されていた方もお手伝いしました。

複数診療科を受診中の患者さんに、今後の通院を1つのかかりつけ医にまとめるお手伝いもしています。

(2019 年度)

紹介状をお持ちの患者さんは WEBで予約申し込みができます

倉敷中央病院では紹介患者診察予約制を導入し、待ち時間の軽減に努めています。
利用しやすいWEBでのお申し込みも受け付けています。



WEB 予約申込
24 時間受付

お申し込み後、当院よりご予約の電話をします。
詳しくは QR コードへ。



電話予約 (平日のみ)

13:00～15:30

086-422-5024 地域医療連携室
翌日以降のご予約をお取りします。



WEB 予約システムをご利用の医療機関からは、その場ですぐご予約がお取りできます。

かかりつけ医を持つタイミングを 考えましょう

下記3項目に1つでも当てはまる方は、これからの受診先を考えるタイミングかもしれません。

Check 30日以上お薬が処方されている

30日以上のお薬が処方されるのは、症状が安定しているのかもしれませんが。特に高齢の方はお薬の分解、排せつするからだの機能が衰え、副作用が出やすくなります。長期処方では体調変化に常に注意が必要です。



Check 6種類以上お薬が処方されている

複数の臓器に慢性疾患を抱えると、お薬の種類や量が増えます。6種類以上では、副作用の発生確率は15%以上です。

数が多いと飲み忘れなどの悪影響もあります。ふらつきや転倒、物忘れ、うつ、食欲低下、便秘などの症状はお薬が原因の可能性があるので、早めにかかりつけ医を受診しましょう。



Check 高血圧症・糖尿病・脂質異常症・認知症の 4疾病のうち2つ以上あてはまる

病院の医師は臓器別の専門医に分かれている一方、かかりつけ医は患者さんの全身状態を継続して診てくれます。

生活習慣病に関わる複数の疾病を抱えるようになったら、からだ全体の継続した管理が必要です。万が一悪化したときはかかりつけ医に専門医療機関への紹介、軽快したら引き続き日常管理をしてもらいましょう。



みんくらムービー



生活習慣病！まずはどこに受診しますか？

生活習慣病にかかるとさまざまな合併症を引き起こします。重症化させないためにも、からだ全体を総合的に、継続的に診てもらえる医療機関に相談しましょう。

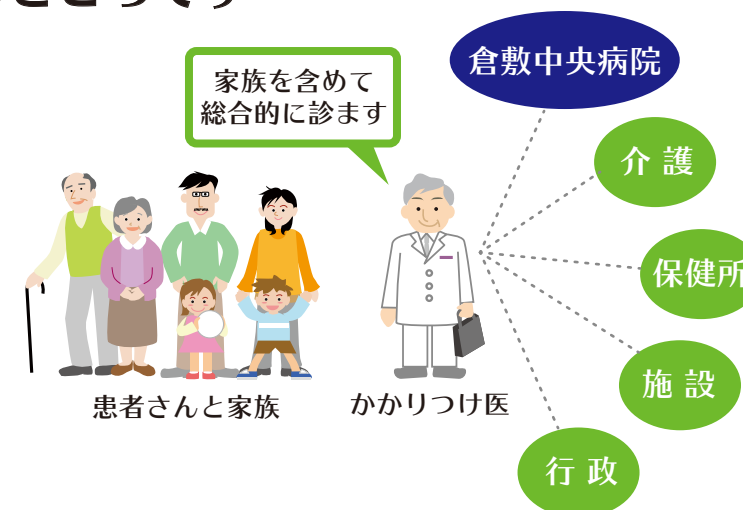


くらちゅうは専門的な検査、 手術や入院治療をするところです

併存疾患を含めたからだ全体を診てくれるのはかかりつけ医です。

当院を受診される場合は、お近くの病院・診療所からの紹介状をご持参ください。

紹介状には、それまでの治療経過や使用しているお薬の内容などが書かれています。紹介状の内容をもとに適切な治療を行います。



例えばこんなとき かかりつけ医に相談できます

1 健康診断の結果が返ってきた

健康診断で生活習慣病の指摘を受けたとき、経過観察といっても何をしたらいいかわからないとき、かかりつけ医に相談できます。

生活のアドバイスや状態が悪化していないか、月に1度経過を診てくれます。



2 からだに異変を感じた

全身を管理してもらう中で、万が一悪化したとき専門医療機関への紹介をしてくれます。軽快した後は引き続き日常管理をしてくれます。



3 救急搬送が必要になった

急な病状悪化で救急医療を受ける必要がある場合、病院の医師に連携を取って緊急紹介をしてくれます。初めての病院に救急搬送されたときも、かかりつけ医からの情報提供により、普段の病状を踏まえた治療を受けられます。



4 通院が難しくなった

「やっぱり最期は自宅で過ごしたい」その思いがあるなら、元気なうちからかかりつけ医に話をしておきましょう。ケアマネジャーなどと連携してあなたを診てくれます。自宅で過ごすことを支える家族の負担も含めて相談できます。



入院中もかかりつけ医が見守る

開放病床

開放病床は、あらかじめ登録した地域のかかりつけ医と当院の医師が共同で診療できるように、地域に開放された病床です。

開放病床だからできること

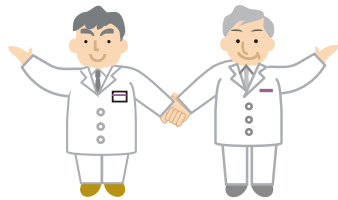
入院中の主治医が二人に

かかりつけ医と当院医師の二人が主治医になります。あなたの生活習慣や家族の診療歴を把握するかかりつけ医ならではの情報を活かした上で、専門的な治療が受けられます。



医師同士がつながる

普段は電話や手紙でのやりとりが中心の医師同士も、直接顔を合わせて話ができる大事な機会。同じタイミングで診療を行い、情報共有しやすい関係が作られています。



退院もスムーズに

退院後の生活の希望も、顔なじみのかかりつけ医へ直接相談してみましょう。かかりつけ医と話すことで気持ちの整理がつき、在宅医療につながった患者さんもおられます。



対象診療科

倉敷中央病院で開放病床を利用できる診療科は12科あります。
※病院によって開放病床の利用診療科は異なります。

- 消化器内科

●呼吸器内科

●糖尿病内科

●腎臓内科

●血液内科

●内分泌代謝科

●脳神経内科

●リウマチ・膠原病科

●循環器内科

●小児科

●泌尿器科

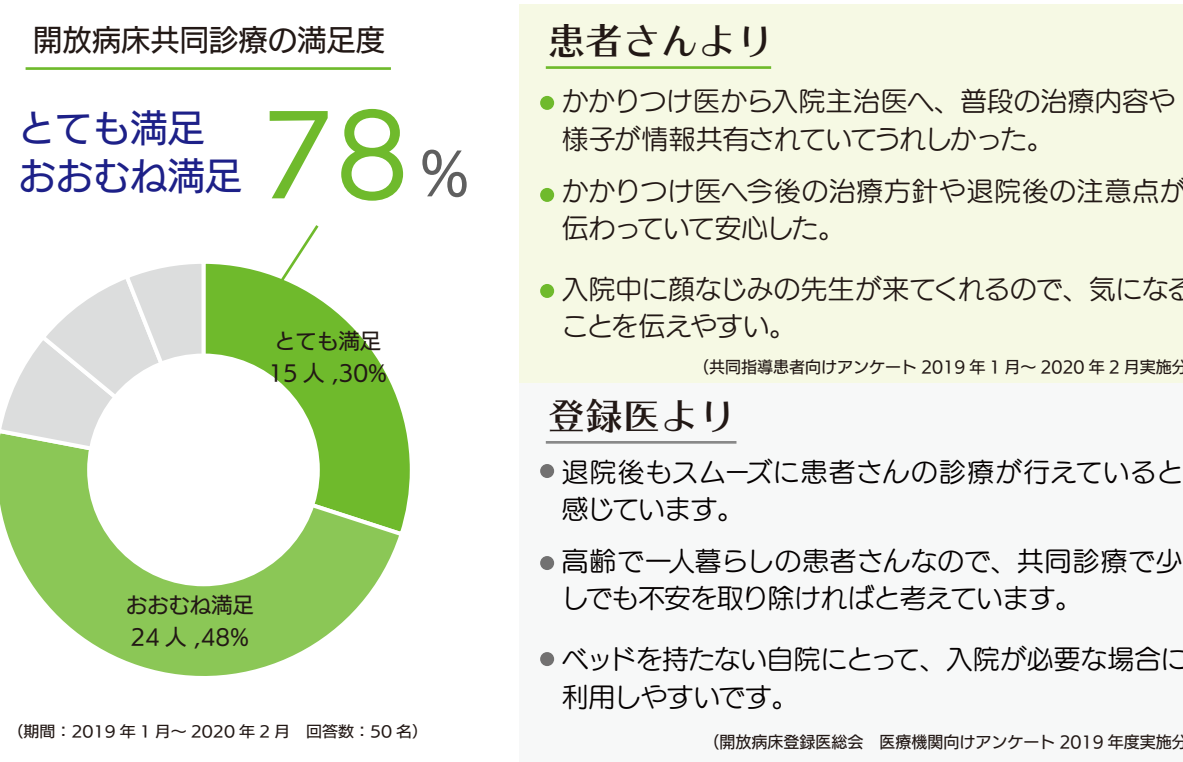
●外科

開放病床の利用が多い疾患：消化管出血、肺炎、糖尿病、腎不全、心不全、川崎病、前立腺・膀胱癌など

開放病床利用の流れ



患者さんや登録医の声

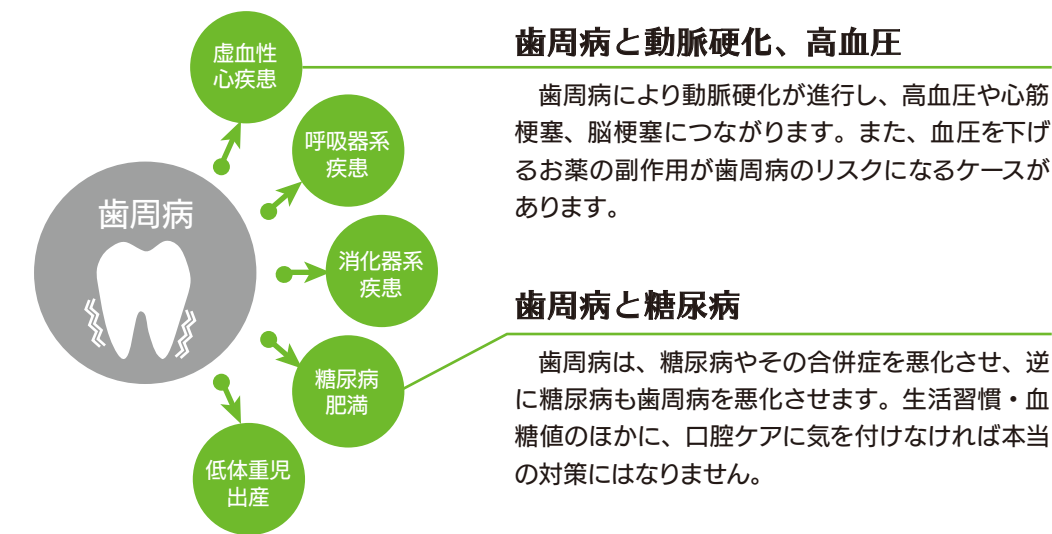


かかりつけ歯科医を持っていますか？

口は感染症の温床と言われています。口腔ケアは全身疾患の予防や重症化を防ぐことにもつながっています。

成人の80%以上が歯周病にかかっているといわれています

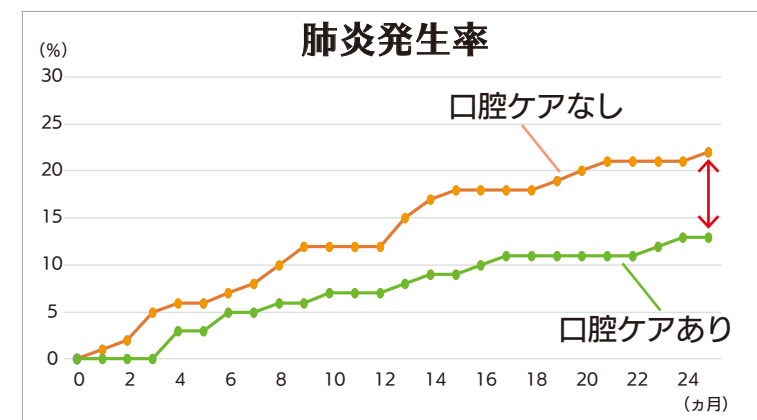
歯周病は、歯を支えるための歯ぐきや骨が歯周病菌によって破壊されていく病気です。歯周病の本当の怖さは、その影響が全身に出てくることです。



口腔ケアで予防！誤嚥性肺炎

高齢者の死因で5位に入っている肺炎。そのうち70%以上が誤嚥性肺炎です。

誤嚥性肺炎 嚥下機能(ものを飲み込む力)の低下で唾液や食べ物などと一緒に細菌が肺に入ってしまう、それが原因で炎症を起こすこと。



(出典：米山武義ら 要介護高齢者に対する口腔衛生の誤嚥性肺炎予防効果に関する研究 日本歯科医師学会会報誌 2001)

予防のために

かむ力・飲み込む力

嚥下機能を維持させるためかむ・飲み込む力を鍛える。

定期的な口腔ケア

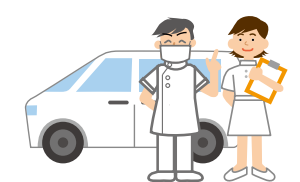
口の中が清潔か、食べ物をかみやすい歯がそろっているか、入れ歯がずれやすくなっていないかをチェックする定期的な口腔ケアが必要。

かかりつけ歯科へ行きましょう

かかりつけ歯科ではかむ力・飲み込む力を鍛える指導や、セルフケアでは不可能なケア(歯石除去など)を含めた定期的な口腔ケアをしてくれます。

口腔ケアは年齢や病態によってふさわしいケア方法が違います

3カ月～半年に1回を目安に定期的な検査と予防処置をしてもらいましょう。口腔トラブルやからだの病気につながる兆候を未然に見つけてくれます。かかりつけ歯科に通えない方は自宅でも受診できる訪問歯科があります。かかりつけ医やケアマネジャーにご相談ください。



全身を管理するかかりつけ医と連携をとってくれます



かかりつけ歯科	病院の歯科
日常の口腔ケア - 口腔トラブルの予防、治療 - 再発防止 - 生活しやすくするための口腔対策	手術前後やがん治療中の口腔ケア - 合併症予防 - 食べるための復帰に向けた早期対策

予防医療プラザで歯周病検査ができます！

※人間ドックを受けた方対象のオプション検査です

パノラマ X 線撮影・口腔内カメラ・歯周検査・医師による説明を行っています。料金：3,000 円（税別）

問合先 倉敷中央病院 予防医療プラザ TEL：086-422-6800

【受付時間】月～土 8:00～16:30

※水曜日・土曜日は休業日の場合があります。



かかりつけ薬局を持っていますか？

処方されたお薬でこんなことに
困った経験はないですか？



コレは起きたら飲む。コレは朝と晩、
ご飯の前に飲む。ええと、コレは・・・



患者さん一人ひとりに合わせ、一包化（飲むタイミングが同じお薬を一包みにまとめる）や分割調剤（希望する日数分ずつお渡しする）の対応をしてくれます。

すでに処方されているお薬と、別の医療機関が発行した処方箋にあるお薬の飲み合わせに問題ないか確認し、調整が必要になれば薬剤師から処方した医療機関へ相談し種類や量の調整がされます。



あれ？薬、飲んだかな？



患者さんの残薬の状況やその理由をお薬手帳に残してもらえると、かかりつけ医の受診時に主治医が確認することができます。



体調がすぐれないのは病気のせい？
それともお薬のせい？



日ごろから些細な体調の変化をかかりつけ薬剤師へ伝えておくことで、必要なタイミングで医療機関の受診をすすめてくれます。

また、24 時間いつでも相談できるかかりつけ薬剤師がいる薬局もあります（健康サポート薬局）。

訪問診療にも対応してくれます

訪問診療をお願いするかかりつけ医が薬剤師によるお薬の管理や説明が必要と判断すれば、医師が処方箋にその旨を記載します。薬剤師が自宅に向かい説明や管理をお手伝いします。その後、薬剤師から医師に報告します。

かかりつけ薬局と上手に付き合っていくためには？

かかりつけ薬局はお薬だけでなく、健康に関する相談・サポートをしてくれます。上手に付き合うために患者さんができることがあります。

お薬手帳に病名を記録しておきましょう

保険薬局で病名を聞かれたときに役立ちます。手帳を見てもらえば、病名を周りの人に聞かれることなく薬剤師へ伝えることができます。

また、過去にどんな病気や検査をしたか記録しておきましょう。特に慢性腎臓病の人は要注意です。お薬の種類や量によっては腎臓に大きな負担をかけることがあります。病歴のある人は薬剤師に必ず伝えて、お薬を調整してもらいましょう。

必要な情報

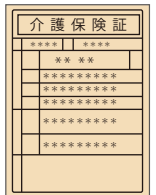
- 現在の病名
- 過去にかかった病気
- 実施した検査

電子お薬手帳⇒P.30
治療記録を管理 KChart to go⇒P.30

日頃から準備しておきましょう



保険証
(介護保険・医療保険)

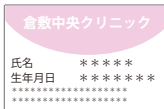


介護保険証：65歳の誕生日前に、市役所から届きます。普段使わない方も突然の発病で入院前と状態が変わり、介護が必要になる場合もあります。要介護認定申請時に必要になるので、医療保険証と一緒に保管しておきましょう。

普段飲んでいる
お薬の情報
(お薬手帳など)



ケアマネジャーの名刺
(介護サービスを利用中の方)



**かかりつけ医療機関の
診察券**

どこにかかっているかが分かるので、病院の医師が日ごろの状態をかかりつけ医に確認するのに役立ちます。

連絡先メモ
家族やすぐに連絡を取りたい人



倉敷中央クリニック
TEL:XXXX-XXXX-XXXX
FAX:XXXX-XXXX-XXXX

**病歴や検査
記録**
を書いたメモ

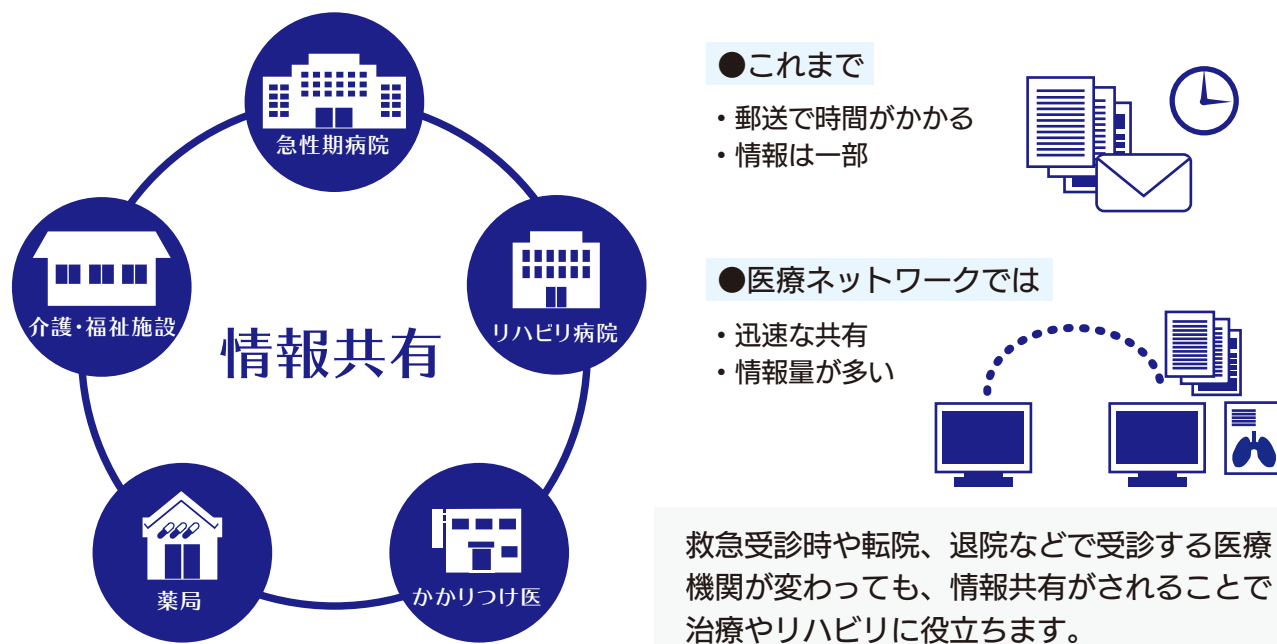


① 保険証ケースなどにまとめて保管しよう

すぐに取り出せるところへ保管しましょう。糖尿病、高血圧、脳卒中、心筋梗塞などで治療中の人は短期間で病状が悪化する危険があります。災害時や緊急時にすぐに情報を提示できるように備えておきましょう。

医療ネットワークを使った連携

医療ネットワークを利用して、患者さんの併存疾患や検査結果を共有できるようになりました。従来の文書でのやりとりに比べて、より迅速に多くの情報を医療機関同士が共有できます。



救急受診時や転院、退院などで受診する医療機関が変わっても、情報共有がされることで治療やリハビリに役立ちます。

共有情報

	患者情報	●	血液型、アレルギー、保険情報 履歴（受診、入院、病歴、処方、注射、リハビリ）など
	検体検査情報	●	血液・尿検査結果、ウイルス検査結果など
	画像情報	●	MR I、CT、内視鏡、心電図、エコーなど
	バイタル	●	血圧、脈拍、体温など

当院独自のシステム KChart（ケーチャート※旧マイカルテオンライン）や共同 PACS（パックス）、岡山県が運用する晴れやかネットを利用しています。

電子データを使って自己管理

USB やスマートフォンを使って、患者さんも簡単に倉敷中央病院での検査結果やお薬情報が管理できます。

- 1 保存、登録するだけなので記録の手間がかからず、持ち歩きしやすい。
- 2 医療機関の先生に自分の治療記録を見てもらえる。
- 3 時系列で見えるので、自分の健康管理に役立てることができる。

USB メモリで患者さんが自分の治療記録を持ち歩ける「KChart to go」（ケイチャートトゥーゴー）

USB メモリに保存したデータはパソコンで閲覧できます。
※倉敷中央病院リバーサイド、予防医療プラザの情報も保存します。

保存用パソコン設置場所

- 医療情報の庭（月～金曜日 午前9時～午後4時）
- 予防医療プラザ3階 ドリンクコーナー内

※ご利用の際は、診察券とUSB メモリ（保存データなし）をご用意ください。
※USB メモリは当院チア・マスティ2号店で販売しています。



スマートフォンで使える 電子版お薬手帳「おくすり手帳Link」

「おくすり手帳 Link」でできること

記録不要

倉敷中央病院で出されたお薬情報が自動反映で自身での記録は不要。

一元管理

当院以外のお薬も含めて管理が可能。（別途登録要）

待ち時間の活用

会計とお薬ができたお知らせが届くので、待ち時間を利用して買い物や休憩ができる。

忘れても安心

お薬手帳を忘れたときも、スマートフォンで代用可能。



ご利用の流れ

dアカウントを取得（ドコモ回線がない方も取得可能）> おくすり手帳 Link をダウンロード
> 設定・情報登録 > 1-17 お薬窓口で登録（当院診察券をご提示ください）

救急医療

かかり方が地域の医療をつくる

救急搬送が増加している今、救急医療の適切な利用が不可欠です。もし、あなたが救急受診をするとき、1秒でも早く治療を受けるために。



この数字は何でしょう？

54.5%

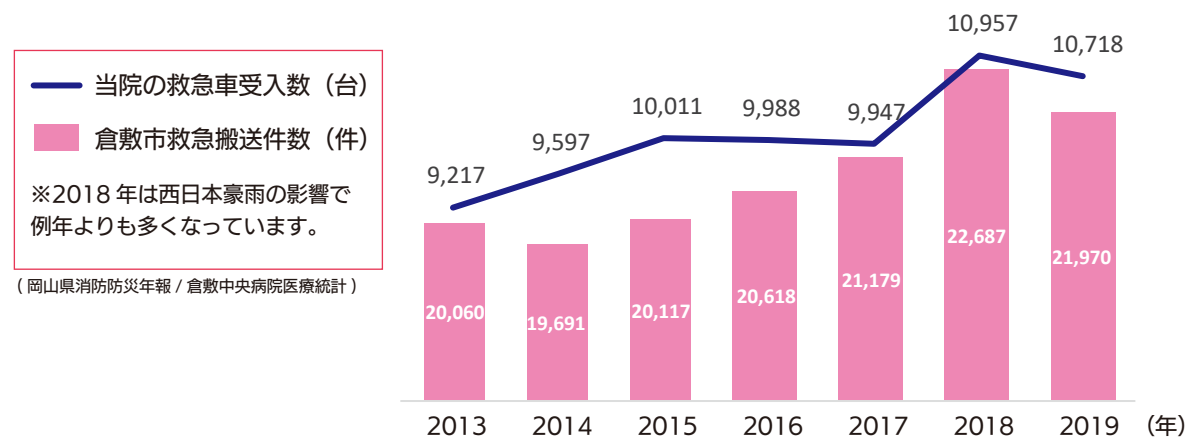
54.5% …救急搬送後、倉敷中央病院に入院となった割合（2019 年度）

倉敷中央病院は入院や手術が必要な患者さんを24時間体制で受け入れています。

救命救急センターでは、24 時間体制で医師・看護師が救急搬送と時間外受診に対応し、いつでも安全で満足のいく医療が受けられることを目指しています。

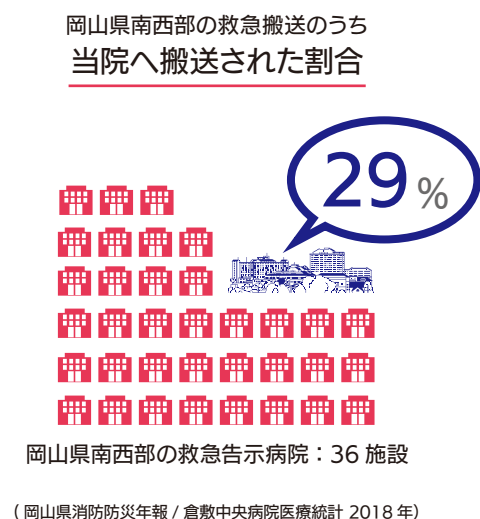
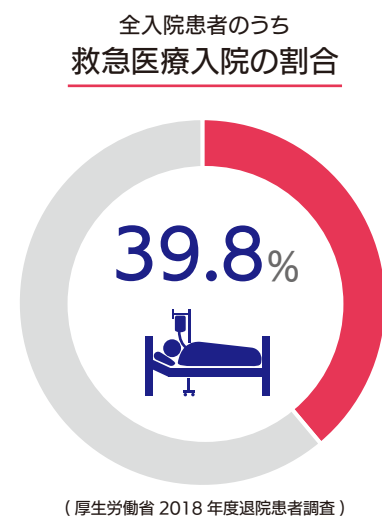
年々増加している救急搬送件数

倉敷市全体の救急出動件数と当院で受け入れた救急車の数は、どちらも年々増加しています。



倉敷市だけでなく周辺地域からも重症患者さんを受け入れています

入院や手術の必要な患者さんの救急搬送が増え続ける中で、救命救急センター機能の維持と患者さんがいつでも自由に受診することは両立可能とは言えません。



重症患者さんに 早く治療を受けてもらうために

時間外救急受診が増加することにより、重症な患者さんや、緊急の処置・対応が必要な患者さんの診療に影響を及ぼしています。

10 人に 1 人
(年間 1,000 件以上)



当院では処置室の満床や手術中などのため、救急搬送患者さんを 10 人に 1 人は別の医療機関へお願いせざるを得ません。つまり、治療を受けるまでの時間が長くなってしまいます。

救急医療の適正受診のため ご理解とご協力をお願いします

特に夜間は診療している医療機関が限られます。救命救急センターは軽症の方も受診が可能です。入院や手術などを必要としない方については、診療にかかる費用の他に追加の費用をご負担いただいております。

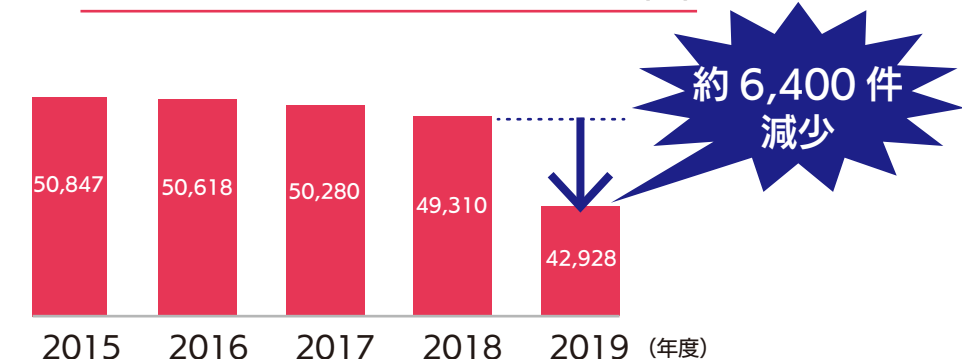
対象時間：21 時 00 分～翌朝 9 時 00 分に受診受付をした方
金 額：5,500 円（税込）

※医療機関からの紹介状を持参されている方、救急受診後に入院になる方など、一部対象外もあります。

ご自身で直接救急受診をする 患者さんは減少傾向です

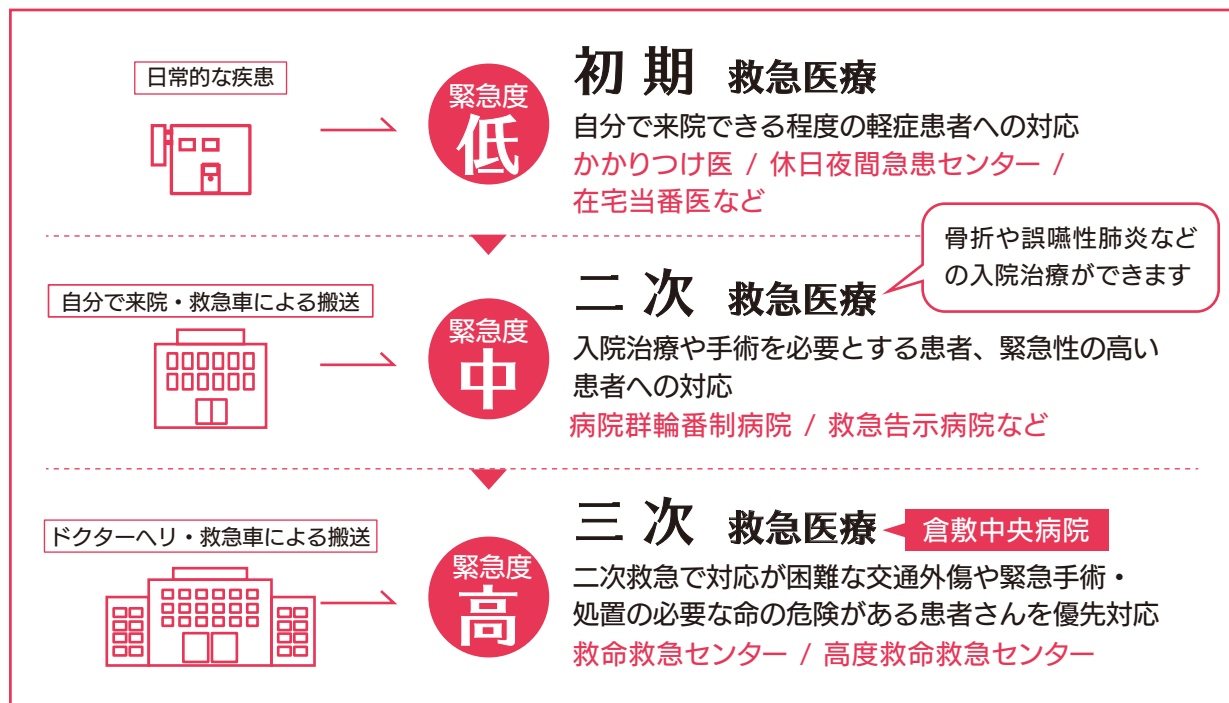
患者さんの適切なかかり方が、救命救急センターの機能を維持できる体制につながっています。救急医療の適正受診にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ご自身で直接救急受診をされた患者数（人）

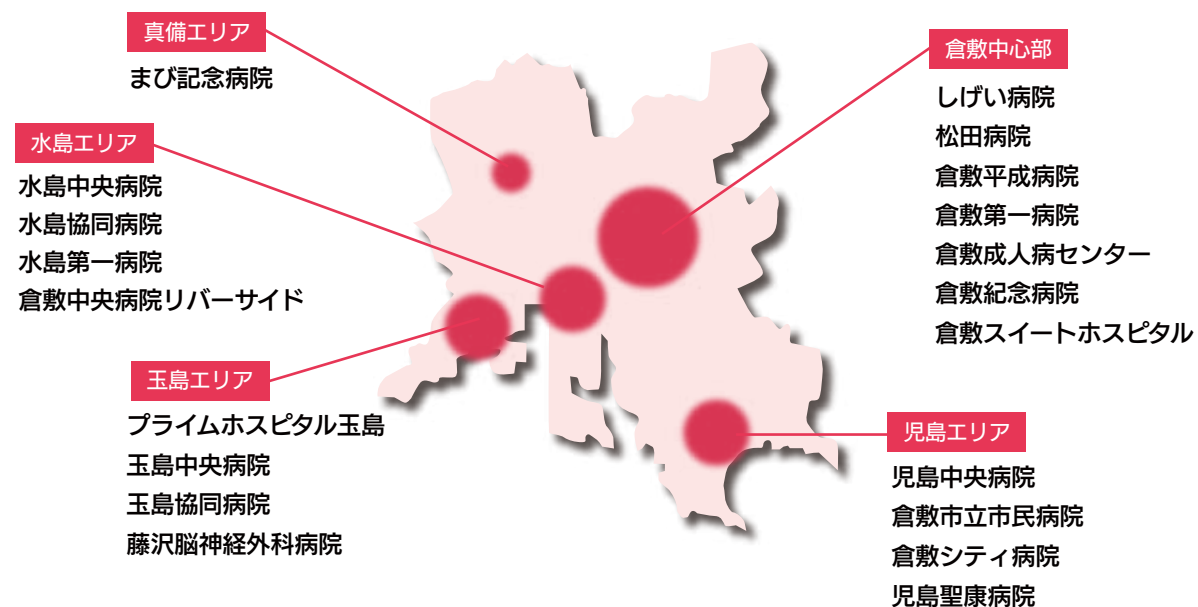


救急医療の役割を知って 上手に医療機関にかかろう

自分や家族が急な病気やケガをしたとき、大きい医療機関の方が安心と思って受診していませんか？医療機関によって救急医療の役割が変わってきます。



倉敷市の二次救急医療機関一覧



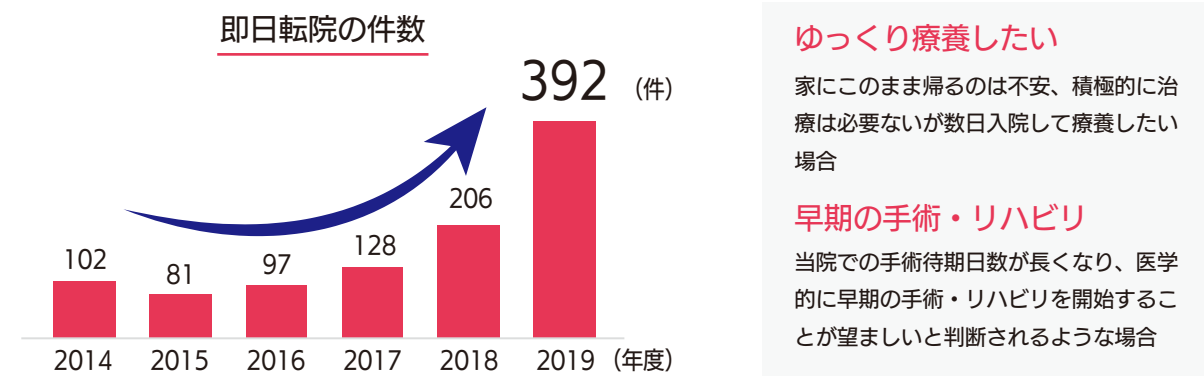
倉敷中央病院と川崎医科大学附属病院は**三次救急医療機関**です。
重症な患者さんから診ていくので、長い待ち時間になることがあります。

この街の医療はつながっている

より多くの患者さんに、適切な医療をより早く受けていただくために、救急外来では即日転院を実施しています。

その日のうちに適切な医療機関を ご紹介する即日転院

救急外来で重症度や手術の必要性・緊急性などを総合的に判断し、連携医療機関での入院治療が望ましい場合に、即日転院をご案内しています。



即日転院の実績（★：整形疾患即日転院パスの連携医療機関）

	医療機関名	件数	医療機関名	件数	医療機関名	件数
倉敷市 中心部	川崎医科大学附属病院	40	プライムホスピタル玉島 ★	7	倉敷市立市民病院 ★	8
	倉敷第一病院 ★	32	玉島 玉島中央病院 ★	5	児島 児島中央病院 ★	8
	しげい病院 ★	30	玉島 玉島協同病院 ★	1	児島 児島聖康病院 ★	-
	倉敷平成病院 ★	18	水島 水島協同病院 ★	21	総社市 角田医院 ★	-
	倉敷記念病院 ★	17	水島 倉敷中央病院リバーサイド	19	浅口市 金光病院 ★	5
	倉敷成人病センター	16	水島 水島中央病院 ★	10	みわ記念病院 ★	1
	倉敷スイートホスピタル ★	11	早島町 南岡山医療センター ★	2	岡山市 重井医学研究所附属病院 ★	4

朝まで救急外来でお待たせしない 「整形疾患即日転院パス」がスタート

即日転院は平日日中のみの実施で、それ以外は転院先決定まで長時間待機するケースもありました。そこで、即日転院の実績がある医療機関を中心に18医療機関へは準夜帯も対象とした「整形疾患即日転院診療連携パス（治療計画）」により、スムーズな転院が可能になりました。患者さん、ご家族は待ち時間が軽減され、早期から安定したケアを受けることができます。

対象疾患：胸腰椎圧迫骨折 / 大腿骨近位部骨折 / 骨盤骨折 / 急性腰痛症 / 四肢打撲・骨折



入院から転院・退院まで

入院前から考える退院後の生活

自宅退院や近隣病院への転院など、治療後の生活は今までと全く違うものになるかもしれません。入院前から備える必要があります。



この数字は何でしょう？

327人

327人 …入退院サポート外来を受けた方の人数（月平均）

入院前の生活状況を入退院サポート外来で詳しく伝えましょう。

入院生活や入院中の治療・検査の説明のほか、事前にお伺いした内容を元に、入院中にどんなサポートが必要か事前に把握し、多職種で共有します。

入退院サポート外来の流れ

倉敷中央病院の平均入院期間は12日（2019年度）です。予想される入院期間の中で計画通りに患者さんの治療が進むように、2018年度から看護師による入退院サポート外来を行っています。

入院決定

入退院サポートが必要か確認します

外来受診の際、入院が決まったら、下記の内容（一例）を元にお話をお聞きます。

- ・入退院を繰り返している
- ・一人暮らし、認知症がある
- ・面談対象の入院科である

入退院サポート外来

退院後の生活を見据えたお話を伺います

患者さんが治療や退院後の生活で困らないために把握しておくべき情報についてお話をお聞きます。必要に応じて薬剤師や管理栄養士、医療ソーシャルワーカーが説明を行う場合があります。

- ・入院生活や入院中の治療・検査の説明
- ・健康状態、日常生活、栄養状態の確認
- ・飲んでいるお薬の確認
- ・介護サービスの利用状況
- ・退院、転院後の連携先の紹介

入院

入退院サポート外来実施人数

3,927人
(2019年度)

入院を予定している患者さんのうち、23%が入院前に看護師へ情報を伝えています。

入院後は治療や手術に専念できるように今から準備を

入院前から患者さんに準備してほしい情報があります。飲んでいるお薬やケアマネジャーの情報は入院中から退院後の生活をサポートするために重要な情報です。

手術や処置を受けるにはお薬の中止や調整が必要

手術や処置の予定がある患者さんは、薬剤師が飲んでいるお薬を詳しくお尋ねします。サプリメントを含む情報を正しく確認してもらえるように、お薬手帳を準備しましょう。



i 入院は減薬のチャンス!

75歳以上のうち約24%が7種類以上のお薬を飲んでいます。[※] 疾患ごとに複数の医療機関で2、3種類ずつお薬をもらえば、飲むべき数は簡単に増えてしまう計算に。入院をきっかけに、飲んでいるお薬の優先順位を考えてもらうことで減薬につながります。

(厚生労働省 平成30年社会医療診療行為別統計)

75歳以上で

4人に一人



ケアマネジャーの連絡先を伝えましょう（介護サービスを利用している方）

患者さんから正確に伝えにくい情報も事前に共有するために、担当ケアマネジャーへ連絡をとる場合があります。

また、入院が決まった時点ですぐに患者さんから担当ケアマネジャーへ連絡しておきましょう。ケアマネジャーから病院へ今までの介護状況を伝えてくれます。

必要な情報

- ・事業所名
 - ・電話番号
 - ・ケアマネジャーの名前
- 保険証やお薬手帳と一緒にケアマネジャーの名刺を持っておきましょう

退院後の治療、リハビリのことも考えましょう



倉敷中央病院



連携医療機関

当院での治療後、転院してスムーズに次の治療へ移れるように、術後の当院での治療期間やリハビリ病院での治療期間について説明し、連携先を事前にご紹介しています。リハビリができる近隣の医療機関を把握して、余裕をもって転院先を検討してみてください。

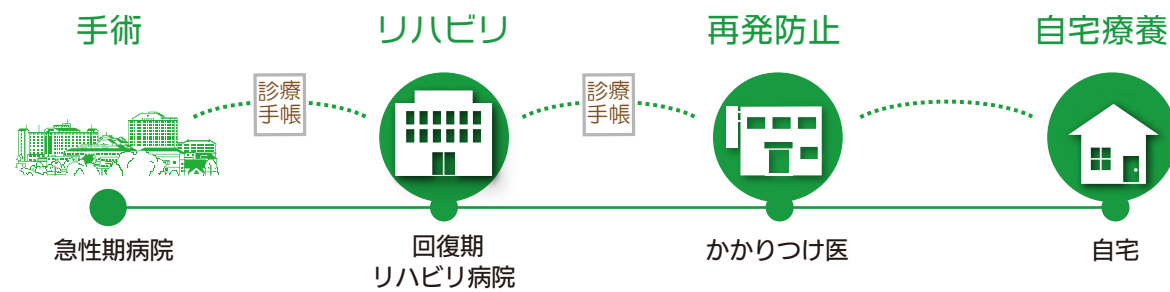
ー退院後もつながる医療ー 地域連携パス

地域連携パスは、疾患に合わせた急性期治療から回復期や維持期、自宅退院までの治療計画です。当院と地域の病院・診療所が検査・処方を役割分担します。地域連携パスを使うことで、あらかじめ自分自身が退院・転院後の検査や治療内容を知ることができ、体調のデータを記録し続けると日々の体調管理にも役立ちます。

脳卒中や骨折の地域連携パス

急性期病院での手術・治療から、自宅退院へ向けたリハビリを

一方向型(リハビリ型)

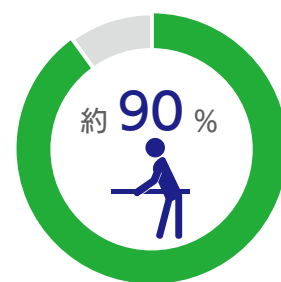


早期のリハビリ内容の切り替えがポイント

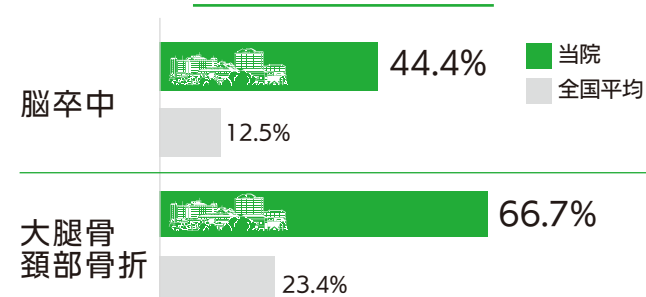
リハビリを始めるタイミングと量は、からだの機能をより良くするためのカギを握っています。脳卒中では集中治療室に入室中から早期のリハビリを行うことが勧められていて、当院では入院後3日以内にリハビリを始めた患者さんは約90%になります。

一方向型のパスは、2～3週間の入院ののち、転院して回復期リハビリ病院で自宅での生活を見据えたリハビリに変更になります。

当院で入院後3日以内に
リハビリを始めた患者さん



地域連携パス適用率



(日本病院会 医療の質評価・公表等推進事業 2017 年)

疾患別一方向型 診療手帳



がんの地域連携パス

体調管理の記録をつけて、定期的に医療機関を受診し、再発防止、再発の早期発見へ

双方向型(循環型)



二人の主治医で異常を見逃さない

計画的に治療や、再発の防止・早期発見を目的として、当院とかかりつけ医とで術後5年（疾患により異なる）をめどに経過観察を行います。

患者さんの通院の負担を減らすため、定期的な CT・エコー検査などは当院で、日常の健康状態はかかりつけ医で診てもらいます。



地域連携パスを使う方に、 治療を継続できるようお声かけしています



当院では対象の方に、定期的な病院・診療所への通院や地域連携パスを正しく使用できているかを看護師面談や、電話で確認しています。途中で治療が途切れることのないよう、サポートしています。 ※地域連携パスの種類によって対応が異なります。

疾患別双方向型 診療手帳



病院を変わっても治療計画はつながっています

診療手帳は患者さんの治療計画が一目で分かる冊子です。患者さん自身で記載する体調記録や、医師からのアドバイスも含まれているので、診察時には必ず持参しましょう。

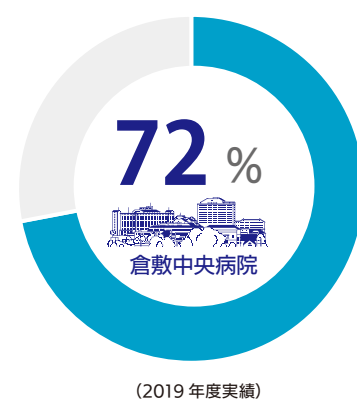


- ✓ かかりつけ医や当院での治療の流れ
- ✓ 普段の体調や治療経過の記録
- ✓ 各疾患ごとの説明、生活する上で気をつけること

倉敷中央病院の5大がん 地域連携パス新規利用は県内トップ!

5大がん（胃がん・大腸がん・乳がん・肝がん・肺がん）に対し、岡山県7カ所のがん診療連携拠点病院における地域連携パス新規利用数は、倉敷中央病院が72%を占めており、県内トップの実績です。

地域連携パス新規利用割合



かかりつけ医で地域連携パスが利用できるか確認します

岡山県外でも連携している医療機関があります。ご自身のかかりつけ医で地域連携パスを利用できるかどうか、ぜひお問い合わせください。

また現在、連携医療機関でなくても、新たに連携をするための調整を行います。利用希望があればお申し出ください。

5大がんいずれかのパスが稼働している
連携医療機関数



みんならムービー



医療機関との上手な付き合い方を考えよう

急な症状に見舞われたとき、どんな病院に行けばいいのでしょうか。救急受診のコツや、みなさんに知って欲しい転院する前のお話を動画で見てください。



転院後は自宅での生活をイメージした からだの動きに慣れよう

患者さんの疾患に合わせたリハビリや、自宅に帰ってからの生活動作を見据えたリハビリは専門の医療機関でサポートしてもらいましょう。

からだの機能回復を目指すには リハビリが効果的

骨折や脳卒中での転院後は、回復期リハビリテーション病院で筋力トレーニングや生活動作の練習を行います。

リハビリ時間について

最大 **3** 時間 / 日
※疾患により基準は異なります

回復期リハビリ病院入院期間

脳卒中 平均 **77** 日
大腿骨 平均 **52** 日
頸部骨折
※地域連携パス利用患者での日数

事前に顔をみて話ができる 転院前の訪問

リハビリや療養を担当する地域の医療機関スタッフが、転院する患者さんの病室に伺います。これにより転院支援にかかる時間が減り、リハビリを早く開始できます。

これまでは、近隣の医療機関から都度訪問に来ていました。現在は週に2～3日ずつ、地域の医療機関スタッフ

が当院に滞在することで、電話でのやりとり以上に詳細な治療状況を即座に把握でき、患者さんに転院先や自宅での生活についての希望や思

いを直接伺いやすくなりました。転院後の入院生活を事前に知り、転院後も同じスタッフと顔をあわせることで、患者さんは「転院前に話し合ったスタッフさんがいてくれてホッとした」と感じています。転院後の不安や気になることを直接話せる良い機会なので、遠慮なく伝えましょう。



倉敷中央病院リバーサイド
看護師 高橋さん



倉敷中央病院 3棟6階にて
左)倉敷リハビリテーション病院 看護師 久本さん
右)倉敷記念病院 医療ソーシャルワーカー 土屋さん

※滞在医療機関は3病院（週に2～3日ずつ）、それ以外は近隣の5病院が当院への訪問を行っています。

在宅医療

心豊かに過ごすわが家でのひと時

病院で受ける医療のほかに、家で受ける在宅医療という選択があります。わが家で大切な人と過ごすためにその思いを行動に移しましょう。



Photo by Minoru Kubota 井原鉄道矢掛駅

この数字は何でしょう？

1,057件

1,057 件 ……当院を退院した後、地域の医療機関へ在宅医療で
紹介した患者さんの件数 (2019 年度 退院患者は 29,438 名)

「思う」から「行動」に 今から家族で共有しよう、最期の迎え方

自分や家族にはまだまだ関係ない話。そう思っている、病気が分かった時には行動できる
時間が限られている場合もあります。

心残りを増やさないために

この 50 年で医療行為や治療をする場であった病
院が最期を迎える場が変わっていき、自宅で最期
を迎えるという発想が薄れていきました。しかし、
近年は「自宅」で亡くなるケースが 12%と徐々に
増えてきています。

どこで最期を迎えたいですか？※

自宅を希望 / 69.2%



実際の死亡場所

病院 / 77%



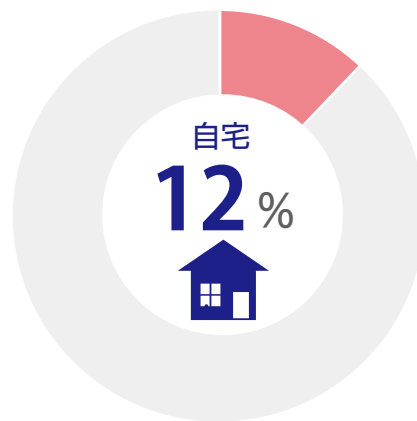
現実には割合が逆転！

大切な人と話し合いが できていますか？

人生の最終段階における医療について話し合
いができていない割合は半数以上です。

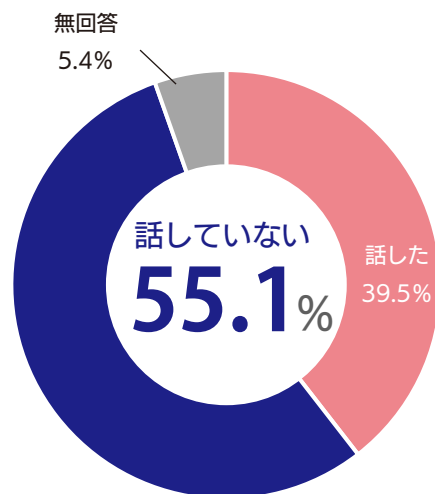
十分に意思疎通がとれる元気なうちから、ど
んな価値観を大切にして、残された時間をどう
過ごしたいか、本人と家族、親しい人たちと話し
ておくことが、希望を叶えるための一歩になり
ます。

死亡場所の割合 (倉敷市)



(2018 年実績)

家族や医療介護関係者と
話し合っている割合※



※人生の最終段階における医療に関する意識調査
平成 29 年度 厚生労働省

在宅医療を始める前に得ていたもの

～わが街健康プロジェクト。参加を通して～

寝たきりのご主人を在宅医療で看取った岡本さん。半年間の入院生活から自宅での介護、
看取りへの移行を決断できた理由の一つに、それまでの行動が関係していました。



岡本好志子さんは、わが街健康プロジェクト。に第1回から参加。プラチナサポーターとして
地域医療を広める活動を行っています。

一生で最高の 16 日間に

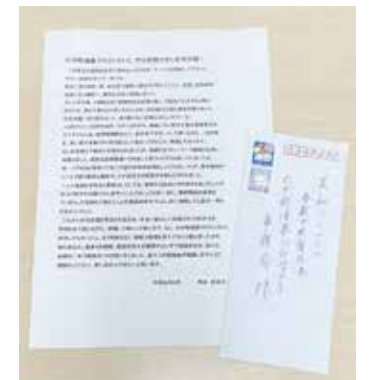
「もし、わが街健康プロジェクト。
に参加していなかったら、全く知識
もなく、病院で最期を迎えて当たり
前と思ったかもしれません。
数多くの病院、施設の方々の講演
で少しずつ知識が付き、私たち夫
婦にとって一生で最高の 16 日間に
なりました。」

※岡本さんの手紙より。ご主人の看取りまでの 16 日間で在宅
医療で過ごされた想いがつづられています。

元気なうちから一歩踏み込んで 考えておきませんか

自分や家族が最期を迎えるなら家がいいな、と漠然
と思うだけでなく、まずは在宅医療がどんなものか、生
活する地域の医療機関やどんなサポート体制があるのか
を知ることから始めてみましょう。

そして、かかりつけ医に相談して在宅医療へとつなげ
ましょう。実際にかかりつけ医を通して、訪問診療・往
診についての知識を得られ、患者本人や家族の思いに
沿った最期を考えるきっかけができます。



わが街健康プロジェクト。事務局に届いた
岡本さんからの手紙

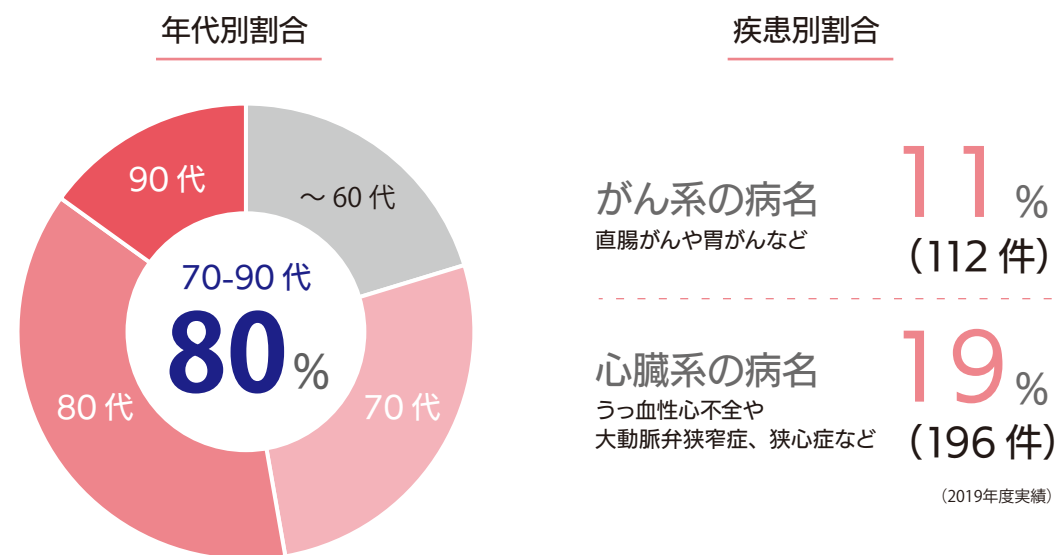


わが街健康プロジェクト。
～心がよう地域医療～
love our community

地域医療を共に考える対話型の講演会「わが街健康プロジェクト。」は、
医療機関と上手につきあうことをテーマにしています。詳しくは P.57 へ

データでみる在宅医療

当院から地域の医療機関へ在宅医療をお願いした患者さんの年代別割合は 70 代から 90 代が 80%、疾患別割合はがん系と心臓系が 3 割を占めています。



倉敷中央病院の取り組み

大切な人の思いが、かかりつけ医へつながるように 在宅緩和ケアパス

住み慣れた自宅で充実した療養生活を送れることを目的にした、地域連携パスの一つです。在宅療養を希望し、かかりつけ医（訪問診療）を決めて自宅退院される悪性腫瘍の患者さんが利用対象となります。当院入院中で在宅療養を希望される方は主治医、看護師へご相談ください。

地域連携パスについては P.41 で詳しくご覧いただけます

痛みのない生活へ 緩和ケアチーム

当院の緩和ケアチーム診療は、悪性疾患（がんなど、小児も含む）や末期臓器不全（心不全、呼吸不全、腎不全、神経疾患など）の重い病を抱え、苦痛症状（身体的、精神的、社会的、スピリチュアル）緩和の難しい患者さんおよびそのご家族を対象としています。

疼痛や呼吸困難、倦怠感などの症状緩和のためにケアをしています。不安のある方はまずは主治医、看護師へお声かけください。

そもそも在宅医療は どんな時に受けられるもの？

病気で通院できなくなった場合です。病院ではなく自宅で医療を受けることができます。自宅での療養が決まれば、医療ソーシャルワーカーが入院中の早い段階から自宅近くの訪問診療を行うかかりつけ医や、訪問看護の手配などを行います。

自宅に戻った後は、訪問診療を行うかかりつけ医が診察のため定期的にあなたの自宅に伺います。

通院困難になった時 ※一例です

- ・がんや神経難病
- ・うつ病や認知症
- ・寝たきり



在宅医療を選択できる体制は 整ってきています

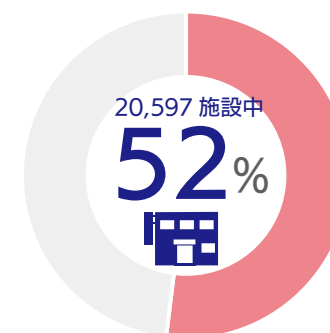
在宅療養支援診療所と呼ばれる往診や訪問診療を行う診療所以外にも、多くの診療所が在宅医療を行っています。在宅療養支援診療所以外で在宅医療が行えるのは、半数以上がもともとかかりつけ医として患者さんを診ていたケースです。在宅医療を受けたいと思ったときは、まずは普段からよく知っているかかりつけ医に相談しましょう。

「在宅療養支援診療所」

- ・24 時間体制で連絡を受け、往診や訪問看護と連携
- ・緊急時の入院が必要なとき、連携する医療機関などへの情報提供
- ・年に 1 回の看取りを行っている



訪問診療を行った 在宅療養支援診療所の割合※



在宅療養支援診療所以外で 在宅での看取りを行った医療機関



(平成 26 年度厚生労働省医療施設調査)

在宅医療を考えるなら やっておきたい「今」できること

かかりつけ医やケアマネジャー、普段からあなたをサポートしてくれる人たちへ、あなたの思いを早めに伝えておきましょう。

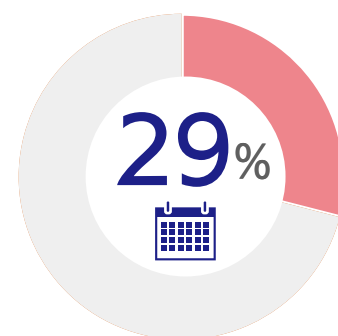
かかりつけ医はあなたの希望を 叶える時間を必要としています

かかりつけ医は、あなたの日ごろの病状を把握しているので、在宅医療への対応がスムーズです。90 日間は患者さんとの信頼関係を構築し、残された時間を少しでも充足して家で過ごしていただくために、かかりつけ医が必要と考える時間です。

患者さんが家で過ごした平均日数は 41.8 日、最短で 2 日、長い方で 313 日です。

(当院在宅緩和ケアパス 2019 年度実績より)

家で過ごした日数が
10 日以内の患者さんの割合



ケアマネジャーと 早めに話し合しましょう

ケアマネジャーは医療と介護をつなぐ橋渡し役です。こういった施設が地域にあり、どんなサービスを受けられるのか、普段から話をしておきましょう。ご自身がお住まいの地域（多くの場合は各中学校区域）にある地域包括支援センターのケアマネジャーへ相談できます。

i 入院中の場合

主治医や医療ソーシャルワーカーが窓口になります。



家族のサポートがない方も 悩まないで早めの相談を

家族のサポートがなく自宅での生活を難しいと感じる方も、まずはかかりつけ医やケアマネジャーに相談しましょう。各種介護サービスを利用して在宅支援ができる可能性があります。また、環境・病状の問題などでどうしても自宅で最期を迎えるのが難しい場合は、利用できる介護施設を提案してくれます。

2つの医療「在宅医療」と「入院医療」

在宅医療と入院医療のどちらを受けるかによって、最期の迎え方は大きく変わります。可能な医療や生活の違いを正しく理解した上で、本人の意思を尊重した選択を考えてみましょう。

在宅医療

入院医療

生活を重視

患者さんの心身ケアと、いつもの生活を自立して暮らしやすくするための医療を行う。

治療を重視

病気の治療を重視し、規則正しい生活を送る。危険回避のため外出・行動制限を行うこともある。

生活

嗜好に合わせて

なるべく患者さんの嗜好に合うよう工夫し、本人のペースに合わせて食べる。

治療食

病状に応じて考えられた食事（減塩食や糖尿病食など）を食べる。

食事

自然な最期

本人・家族の意思を都度確認し、安らかで自然な形での最期を迎えられるようにする。

できる限り治療

医療者が近くにいる状態で、最期までできる限りの治療を行う。（治療方針の確認が必要な場合は家族に連絡、来院いただき、決定する）

最期の
迎え方

在宅医療なら普段の生活が刺激となり、認知機能や筋力の低下を防ぐことにつながります。

緊急時には即時対応できます。（あらかじめ患者さんが延命を望んでいない場合は患者の意思に従います）



在宅医療は生活そのもの

在宅医療は心落ち着く家での生活です。そこには患者さんや家族を支えるかかりつけ医の存在があります。家で過ごす大切な時間のために…できるだけ早く伝えてください。



今をより大切に生きられるように 「人生会議」をしてみませんか

「人生会議」(ACP) … アドバンス・ケア・プランニングの愛称

「もしも」のときに備えて、あなたの希望や大切にしていること、今後の治療方針などをあなたの信頼できる人と一緒に何度も話し合うことです。

信頼できる人と人生会議で しておきたいこんな話

自分のこと

- 大切にしていること、生きがい、気がかりなこと

治療について

- 受けたい治療や受けたくない治療は？

どう過ごしたいか

- 意識がない、医療機器がないと生きられない、つらい痛みが続く状況になった場合、どのように過ごしたいか？(ケアを受ける場所、どんな最期を望むかなど)
- あなたが意識不明になった場合、代わりに方針を決めてくれるキーパーソン(代表者)は？



家族や
まわりの人

してあげたいと思うこと / キーパーソン以外の家族の思い /
悩んだとき誰に相談したらよいか

自分だけで考えずまわりの人と 一緒に話し合うことが大事

話し合いをするのは家族や友人、かかりつけ医など医療従事者やケアマネジャーをはじめとした介護関係者などです。大切なのは一緒に話し合う過程です。

「もしも」のとき、意思を共有しておけば、みんながあなたの価値観に沿うことができます。一度決めても状況に応じて何度でも変更できます。話し合ううちに自分の気持ちも固められます。

難しい治療の選択をしなければならないとき、その判断の助けとなり、まわりの人の心理的負担の軽減にもつながります。

一度だけではなく
何度話し合っても
大丈夫！



連 | 携 | 医 | 療 | 機 | 関 | の | 紹 | 介

第7弾 矢掛・井原編



- 1 矢掛町国民健康保険病院
- 2 井原市立井原市民病院
- 3 小田病院
- 4 菅病院

倉敷中央病院

過ごし慣れた地元に戻りたい、そう感じている患者さんは多いはず。医療機関のスタッフは患者さんやご家族の希望に寄り添いサポートすべく、日々協力しあっています。今回は井原・矢掛エリアから連携医療機関をご紹介します。

矢掛町 国民健康保険病院



〒714-1201 小田郡矢掛町矢掛2695

☎ 0866-82-1326 FAX 0866-82-0736

<http://www.town.yakage.lg.jp/hospital/>

当院は昭和9年に創立以降、町内唯一の公立病院として地域住民の皆さまに信頼される病院を目指して診療を行っております。外来は11科あり、そのうち精神科は精神疾患の方、特に認知症のニーズが多く、令和元年4月に開設しました。

入院は療養病床60床、一般病床57床、うち地域包括ケア病床14床です。地域の中核病院として医療と介護の多様な方面へ対応できる連携拠点病院を目指し、稼働しています。高度先進医療が必要な場合は高度機能病院へ紹介し、急性期治療後は当院へ転院していただき退院後の療養環境調整をいたします。

近年では訪問診療を積極的に行うとともに、地域の訪問看護介護事業所やケアマネジャーなどと密接に連携を図り、地域住民の皆さまが安心して生活していただける医療介護の連携に努めています。

井原市立

井原市民病院



〒715-0019 井原市井原町1186

☎ 0866-62-1133 FAX 0866-62-1275

<http://www.ibarahp.jp/>

当院は、岡山県南西部・広島県との県境に位置し、地域の中核病院としての役割を担っています。高密度な医療を必要とする急性期、在宅復帰に向けた医療とリハビリテーションを提供する回復期、長期にわたる療養を必要とする慢性期の3つの機能を担っています。

また、倉敷中央病院をはじめとする高次医療機関などとの連携も積極的に行い、住み慣れた地域での生活が継続できるよう努めています。さらに訪問看護や訪問リハビリテーションも提供し、医療と介護のシームレスな支援を行っています。

今後も「自治体病院の使命と役割」を果たし、地域の皆さまに信頼され、満足していただける病院を目指し、職員一同日々努力しております。

医療法人 おだうじ会

小田病院



〒715-0019 井原市井原町582

☎ 0866-62-1355 FAX 0866-62-0145

<http://www.ibara.ne.jp/~odauji7/>

当院は、井原市の中心部に位置しています。昭和40年に移転開業し、現在は、地域包括ケア病棟33床の病院です。診療科は、主に外科、胃腸科、肛門科、耳鼻咽喉科、整形外科を中心に、診療を行っています。「広く地域から親しまれ、信頼され、年とともに充実して地域社会に貢献しうる病院を目指します。」を病院理念とし、職員一丸となって日々努力しています。

地域医療を支える病院として、地域包括ケア病棟の役割である、サブアキュート、ポストアキュート、在宅復帰への支援、他病院への転院や介護施設への入所の支援、レスパイト入院も含めて積極的に取り組んでいます。

今後とも、倉敷中央病院のような高度救急病院、地域の病院、診療所、介護施設などと連携を図りながら、より地域に貢献できる病院を目指していきます。



Photo by Hirofumi Sogo

※嫁いらず観音：「老いても嫁の手を煩わすことなく、健康で幸せな生涯を全うできる」という霊験があるとされます。【所在地】岡山県井原市大江町 1036

医療法人社団

菅病院



〒715-0019 井原市井原町 124

☎ 0866-62-2831 FAX 0866-62-6301

<http://www.urban.ne.jp/home/hossuga/>

菅病院は広島県との県境の岡山県西部に位置する井原市にある病院です。昭和45年に先代菅嘉彦先生が開院されて以来、現在では一般32床、療養27床で、地域に密着した病院運営を行っています。その中でも、井原地区では数少ない入院もできる透析施設として役割を果たすべく、透析患者さまを積極的に受け入れております。もちろん、透析患者さま以外でも内科疾患を中心に、急性期から在宅への橋渡しとなるよう日々診療を行っています。

また、高齢化社会の現況を踏まえて、在宅ケアや通所リハビリテーションなど介護にも目を向け、ご年配の方が安心して暮らせる街づくりの一端を担っております。

これからも「患者さまに優しい病院」をモットーに、地域の皆さまに信頼され、そして必要とされる病院を目指して職員一同精進していきたいと思っております。



わが街健康プロジェクト。

～心かよう地域医療～
love our community

「わがプロ」の始まり

4人に1人が75歳以上となる超高齢社会の到来が2025年に迫っています。これからも安心して暮らせる街であるために市民の皆さんと医療提供者が共に心通わせ、地域医療を考えていく必要があります。

地域医療を共に考える双方向コミュニケーションの場として倉敷市内13病院の共催で「わがプロ」を立ち上げ、現在25医療機関で運営しています。

年4回の講演会、2回のサポーターズミーティングをおこない、2019年11月開催の第25回講演会で活動はいよいよ7年目に入りました。

医療機関と上手に付き合う

「わが街健康プロジェクト。」は3つのテーマ

- ① 医療機関と上手に付き合う
- ② 病気の予防と健康維持
- ③ 倉敷（以外の方は自分の街）をもっと好きになる

を掲げています。テーマの実現に向けて「わが街健康プロジェクト。」で地域医療を学び、仲間と一緒に考え、広めることで安心して暮らせる街づくりにあなたも参加してみませんか。テーマに興味があれば、どなたでもご参加いただけます。



Topics1

あなたの街へ 広がるわがプロ



玉島市民交流センター

これまで倉敷市中心部で開催してきたわが街健康プロジェクト。（以下わがプロ）がいよいよ玉島地区、水島地区での開催を予定しています。

倉敷市中心部だけでなく各地域での開催は、地域住民と医療提供者が心通わせ、自分たちの住む街を支える活動への意識の高まりにつながります。これはわがプロのテーマのひとつ「自分の住む街をもっと好きになる」に通じています。

各地域ごとにわがプロの輪が広がることで、新しいサポーターとの出会いを楽しみにしています。そしてサポーターの一人ひとりが医療機関と上手に付き合うことを実践、家族や友人に広めることで地域を支える力がさらに大きくなることを願っています。

各エリアの会場

水島開催

■ 水島愛あいサロン

倉敷市水島東千鳥町1-50
(水島臨海鉄道水島駅前)

玉島開催

■ 玉島市民交流センター

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1

公式ラジオ番組

love our community - わが街のわ -

FMくらしき (82.8MHz) で毎月第3水曜日 17:30～(約15分)



共催医療機関スタッフ、学生さん、サポーター、多彩な出演者が毎回さまざまな視点で「わが街健康プロジェクト。」を語ります。

学生さんからは、PRポスターを制作したときの苦労や学びについてお話をいただきました。サポーター出演回はブロンズ、ゴールド、プラチナそれぞれ2名をゲストに迎えてお送りしました。わがプロに参加したきっかけや健康体操を主催して仲間にわがプロの参加を勧めていただいたこと、サポーターズミーティングで学んだ在宅医療を実践して充実した日々を送れたというお話もありました。明るく元気なわがプロファンのサポーターの皆さんが番組を盛り上げてくれました。

Check!!

わがプロホームページで
ラジオ音声聴けます♪

わがプロ 検索

<http://www.wagapro.net/radio.html>

第1回からの出演者とトークを紹介しています。全放送回のラジオ音声を聴くことができます。



第4回：ブロンズサポーター



第5回：ゴールドサポーター



第8回：プラチナサポーター

Topics2

イオンモール倉敷開催

2020年2月第26回講演会は恒例となったイオンモール倉敷で開催しました。広い世代に興味を持ってもらえる話題として「けんしん」をテーマに講演を行い、初めての方も多く参加いただき会場は満席となりました。

子どもも大人も楽しく参加

イオンモール倉敷では2Fイオンホールの講演会のほか、1Fセントラルコートで骨密度測定・相談、体操コーナーを開催し、講演前の測定を楽しみにしているサポーターでにぎわいました。

「わくわくブース」では、若いお父さん、お母さんと就学前のお子さんがわがプロシールで飾るオリジナルマスク、マスクケース作りに挑戦。正しいマスクのつけ方や感染予防を親子で学びました。また、エコバッグ作り、医療者のユニフォームで写真撮影などの体験コーナーも人気でした。クイズコーナーでは、医療機関スタッフと交流しながら医療機関と上手に付き合うコツを一緒に考えてもらいました。若い世代や子どもたちにもわがプロを知ってもらい、医療機関と上手に付き合うきっかけづくりになりました。

100 作品が集う！ポスター投票

若い世代に「医療機関と上手に付き合う」を考えて広めてもらう取り組みとして毎年恒例のポスター展。岡山県立大学、川崎医療福祉大学のデザイン系学科の学生に呼びかけ、今回は最多となる全100作品が集まりました。

イオンモール倉敷のセントラルコートでポスター展示、サポーター投票を行い、サポーターだけでなく、一般の方にも広く見ていただきました。グランプリ、優秀賞はポスターを制作し、共催病院内での掲示のほか、有志の方にお住まいの地域で掲示いただきます。



セントラルコートのイベントの様子



イオンモール倉敷のポスター展示・投票

サポーターズミーティング

2019年10月開催の第11回サポーターズミーティングでは、「災害時の備え」について話し合い、「わが事カード」を作りました。

13:30 開場・受付開始

受付後、テーブルへご案内します。ゴールドサポーターの方は名札ケースを付けて参加します。

14:05 もしも災害にあったら？

外出中に災害にあったら？と想定してグループで話し合いをしました。飲んでる薬がわからない、家族の電話番号がすぐに出てこないなど困りごとが上がりました。

14:40 ミニレクチャー

倉敷薬剤師会 石元 秀和先生（トマト薬局）より真備地区の水害をもとに「お薬についてのお話ー災害時に備えてー」のレクチャー。

14:55 わが事カード記入

かかりつけ医やお薬情報、緊急連絡先を記入できる「わが事カード」を作成しました。記憶だけではなかなか完成しません。

15:20 グループ討議

いざというときに医療者に自分の情報を伝えることの大切さや、伝える工夫についてのアイデアで盛り上がりしました。

15:55 閉会

「わが事カード」を家で完成させよう、離れた家族に自分の情報を伝えておこう、など今日考えたことを実践します、と皆さん笑顔で帰られました。



飲んでいるお薬、覚えていますか？

災害時、起きた問題のひとつはお薬のこと。自分のお薬、名前は覚えているけど分量までは分らない、ミーティングではそんな声が上がりました。災害など緊急時にお薬情報のほかに、緊急連絡先やかかりつけ医、病歴などを記録しておくことでより適切な医療を受けられます。スマートフォンでお薬手帳の写真を撮っておく、家族にその写真を送っておくなど自分の情報を記録する、残すアイデアについても意見交換ができました。

意外と覚えていない！？
自分のこと



セカンドオピニオン外来

現在の主治医の診断や治療方針について、他医療機関の医師の意見を参考にして、もう一度現在の主治医と今後の治療について話し合うための仕組みです。

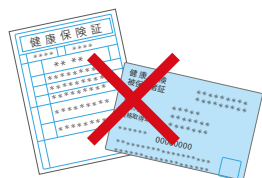
セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンは、**医療機関・主治医を代えることではありません。**

❗ **診察や検査はしません**
お話だけです



❗ **保険証は使えません**
自費となります



まずは必ず主治医に相談を

患者さんの病状を最も理解しているのは、現在の主治医です。セカンドオピニオンの前に、まずは主治医としっかり話し合しましょう。

※他の医療機関にセカンドオピニオンを求めることにより、患者さんの不利益になることはありません。



他 院

倉敷中央病院

他院入院中・通院中の患者さんで、
倉敷中央病院のセカンドオピニオンを
希望される場合

まず、現在の主治医にセカンドオピニオンの希望を伝え、
紹介状を用意してもらってください。

倉敷中央病院の場合

料 金

30分未満 10,000円(税別)
30分以上 20,000円(税別) ※最長1時間まで
※保険が使えません。

実績科
(2019年)

消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、脳神経内科、
外科（消化器・乳腺）、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、呼吸器外科、
心臓血管外科、産婦人科、精神科
※その他の診療科については、各科医師に対応の可否を確認し、お返事いたします。

予 約

完全予約制

事前にホームページから申込用紙を入手してFAX・郵送にてお申し込みください。

★通常の診察予約の方法と異なります。

★主治医からの紹介状が必要です。

★当院での検査、治療をご希望の場合は、セカンドオピニオン外来の対象になりません。

※申込日から相談日まで、7～10日程度の日数がかかります。

心臓血管外科専門医師のオンラインセカンドオピニオン

専用のアプリ「CLINICS」を通じて事前予約し、倉敷中央病院に
来ることなく、患者さんの都合の良い場所でセカンドオピニオン
を受けていただくことができます。（オンラインにて）
詳しくはQRコードからご確認ください。



時 間：原則20分 最長60分

料 金：予約料10,000円（税別）（診療料 20分を含む）

※診察時間が20分を超える場合、10分ごとに超過料金5,000円（税別）

※お申し込みは心臓血管外科のみです。ご注意ください。

倉敷中央病院

倉敷中央病院入院中・通院中の
患者さんで、他院のセカンドオピニオンを
希望される場合

他 院

他院でのセカンドオピニオンを希望される場合は、
主治医までご相談ください。

何か不安なことがあれば主治医、担当看護師またはがん相談支援センター（P.63参照）に
お気軽にご相談ください。

がんに関する取り組み

当院は、岡山県の推薦に基づいて、厚生労働大臣より岡山県の地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がんに関するさまざまな取り組みを行っています。

がん相談支援センター

がんでお悩みの患者さんやそのご家族にご利用いただける相談窓口です。がんに関する不安や悩み、病気に対する疑問など、看護師や専任の医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、解決に向けて支援します。



がん相談支援センターのご案内

相談日時 月曜日～金曜日（稼働日以外の休日を除く）9：00～17：00

連絡方法 ☎ 086-422-0210（代表）

相談時間 30分 相談料：無料

電話でのご相談、直接ご来院でのご相談、いずれも可能です。
当院へおかけの患者さん以外でもご利用できます。

がん相談支援センターへ来室される方は、1-57 窓口（入院外来相談室）へお声かけください。

TOPICS

小児・AYA世代のがん医療

がんは、高齢者のみならず、小児や15歳から40歳未満の若年成人であるAYA(Adolescent and Young Adult)世代にも発症する可能性のある病気です。若年でがんを発症すると、患者数が少なく治療体制が確立しづらいことや、就学、就職、結婚、妊娠、子育てというようにライフステージに合わせた環境変化が著しい世代であることから、それぞれの過程においてさまざまな支援が必要です。

国の方針として、小児・AYA世代のがん患者さんに対する医療体制や相談支援体制を整備することが求められており、当院においても、小児がん拠点病院などと連携して治療や相談支援を行っています。

がんゲノム医療が保険適用になりました

がんゲノム医療とは、血液やがんの組織を用いて遺伝子レベルで変異を調べる「がん遺伝子パネル検査」のことをいいます。

日本では、2019年6月より、2つのパネル検査が保険適用となりました。効果的な治療法が確立されていない希少がんや、標準治療を終了する見込みのがん患者さんを対象に、遺伝子の変化に対応した治療薬を調べる検査となっています。

検査によって具体的な治療に結び付くケースは全体の10%程度と言われている状況ですが、検査を受ける人が増えることで、今後のがん研究の発展が期待されています。



がんサロン・各種相談会のご紹介

がん相談支援センターでは、患者さんへの相談支援・情報提供の他に、以下の活動も行っています。
各種詳細はがん相談支援センターまでお問い合わせください。

がんサロン「のぞみ会」



当院のがん患者さんやご家族が参加できる「がんサロン」を偶数月第3木曜日に開催しています。

医療者によるミニ講座に加えて、患者さんの思いや体験をお互いに共有する場です。

アピアランスケアに関する相談会

※外見についてのケア



がん治療の副作用による脱毛、爪、肌などの外見変化の悩みを多くの方が抱えています。

「脱毛ケアを知りたい」「医療用ウィッグやネイルケアについて知りたい」などのさまざまな疑問や悩みに答えるため、院内で無料の相談会を開催しています。

治療と仕事の両立支援

現在、日本人の2人に1人はがんになる時代と言われています。そのうち3人に1人は就労可能な年齢でがんにかかるというデータもあり、がん治療と仕事の両立は大きな課題となっています。

がん相談支援センターでは、ハローワークや産業保健総合支援センターと連携して治療と仕事を両立できる方法を探すお手伝いをしています。



がん相談支援センターのホームページや院内掲示もご覧ください。

患者さんをお待たせしないために

倉敷中央病院では患者さんの待ち時間を少しでも短縮する取り組みとして、駐車場の混雑緩和や医療費あと払いサービスの導入をしています。

駐車料金の有料化

午前中を中心に発生する来院者駐車場の混雑で、患者さんが診察予約に遅れてしまうなどご迷惑をおかけしていました。そのため 2019 年 10 月より駐車料金の改定および駐車場の運用を変更しました。

外来受診される方 1回の駐車につき **100 円**

お見舞い・一般の方 7:00～13:00 30分/**300 円**

13:00～7:00 30分/**100 円**



※回数券、駐車許可証は取り扱いを中止しました。

※事前精算機を新たに設置しました。(中央玄関南側と北玄関に各1台設置)

渋滞が緩和
されました

患者さんのご協力を受け、倉敷中央病院を1周していた渋滞が大きく改善されました。
引き続きのご協力とご理解のほど、よろしくお願いいたします。

医療費あと払いサービスの導入

診察終了後、会計のお支払いにてお待たせする時間が発生しておりました。そこで、会計を待たずにお帰りいただける「あと払い」のサービスを導入しました。当日の診察料を後日、口座振替や携帯電話料金にまとめてお支払いいただけます。

サービス対象外となるもの：入院診療、救急診療、自費診療の一部、歯科・美容外科

ご利用のメリット

- 1 会計の待ち時間がゼロに！
- 2 通院時、必要なものは診察券だけ
- 3 家族の分もまとめて支払える

定期的に通院されている方や複数名で来られ混雑した場所で待つことが難しい方へ特におすすめです。



1. サービスの利用について

1 「お薬手帳 Link」アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードしてください。

2 「医療費あと払い」サービスに会員登録をしてください。
5つの決済方法からお選びいただけます。
(サービス提供会社：㈱エムイーエックステクノロジーズ)

医療費あと払いサービスについて詳細はこちら



2 当院1階のお薬窓口にお越しいただき、利用開始の手続きをいたします。

2. 受診当日の流れ

STEP
1

診察前

外来1-11 初診受付窓口
あと払い専用窓口で利用の受付 (毎回)

STEP
2

受診時

本日のご予定表をお持ちになり、各診療科へ

STEP
3

診察終了後

▶ お薬のある方

外来1-17 お薬窓口「★印」窓口
「おくすり手帳 Link」アプリにお薬完了の通知が届いた後に、お薬を受け取り帰宅。
もしくは着払い配送により後日、家でのお受け取りも選択可能です。

▶ お薬の無い方

そのまま帰宅できます。次回予約がある方は、受診日もしくは翌日以降に「お薬手帳 Link」アプリ内で確認できます。



3. 利用料金

※入会金・年会費は無料

※ご利用がなければ料金はかかりません

	口座振替	NTTドコモ	au	ソフトバンク	EPARK
利用料	1回につき 100円(税別)	1回につき 100円(税別)	1回につき 210円(税別)	1回につき 210円(税別)	1回につき 200円(税別)
振替手数料	80円/月 (税別)	80円/月 (税別)	—	—	—

これまでに経験のない不安が続いている
こんなに自分のからだに向きあったことはなかった
できることを たくさん見つけた
それが あの人の暮らしにつながっている

この街の未来をつくりだすのは
一人ひとりの小さな行動



お問い合わせ先

倉敷中央病院 地域医療連携室 TEL：086-422-5024（直通）

「みんなのくらちゅう」へのご意見・ご感想をお聞かせください。

発行年月日：2020 年 8 月 1 日



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院

地域医療連携部